

男女平等参画に関する
市民意識調査報告書

平成24年6月
苫小牧市

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的	2
2 調査項目	2
3 調査の方法	2
4 回収結果	2
5 結果の表示方法	2
6 調査対象者の属性	3

II 調査結果

1 男女平等について	4
2 役割分担意識について	9
3 出産・子育てについて	14
4 就労について	16
5 人権について	21
6 男女平等参画社会の推進に向けて	23

III 意見・要望

1 設問別意見	28
2 男女平等参画の推進についての意見・要望	35

IV 集計表

V 調査票

I 調査の概要

1 調査の目的

苫小牧市では平成19年4月に「苫小牧市男女平等参画推進条例」を制定しました。平成21年1月には、条例の基本理念に基づいた「苫小牧市男女平等参画基本計画（第2次）」を策定し、施策の推進に取り組んでいるところです。計画期間を平成20年度から平成29年度までの10年間としています。この計画期間の中間年を迎えるにあたり、見直しをする基礎資料とすることを目的に、男女平等参画に関する市民の意識や考え方の調査を実施いたしました。

2 調査項目

- (1) 男女平等について
- (2) 役割分担意識について
- (3) 出産・子育てについて
- (4) 就労について
- (5) 人権について
- (6) 男女平等参画社会の推進に向けて

3 調査方法

- (1) 調査対象 市内に居住する20歳以上男女（平成24年3月1日現在）
- (2) 調査対象者数 1,500人（男女各750人）
- (3) 抽出方法 住民基本台帳システムによる層化無作為抽出法
- (4) 調査方法 郵送（往復）による調査
督促なし
- (5) 調査時期 平成24年3月15日から3月30日まで

4 回収結果

回収数（率）	374（回収率 24.9%）
女性	202（54.0%）
男性	172（46.0%）
性別無回答	0（0.0%）

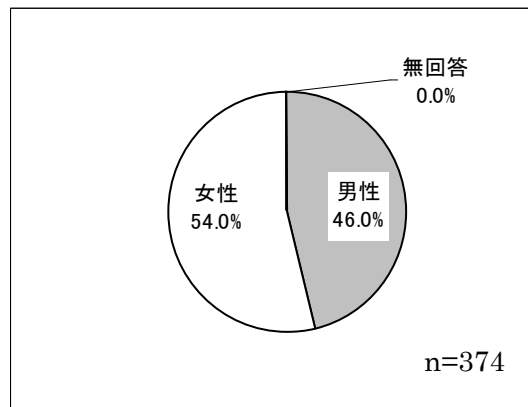
5 結果の表示方法

- (1) nとは、回答者数を表しています。
- (2) 比率は、各設問の「無回答」を含む集計対象総数に対する百分率(%)で表示しています。
- (3) 比率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。このため、比率の合計が100%にならない場合があります。
- (4) 複数回答ができる設問では、比率の合計が100%を超える場合があります。

6 調査対象者の属性

【性別】

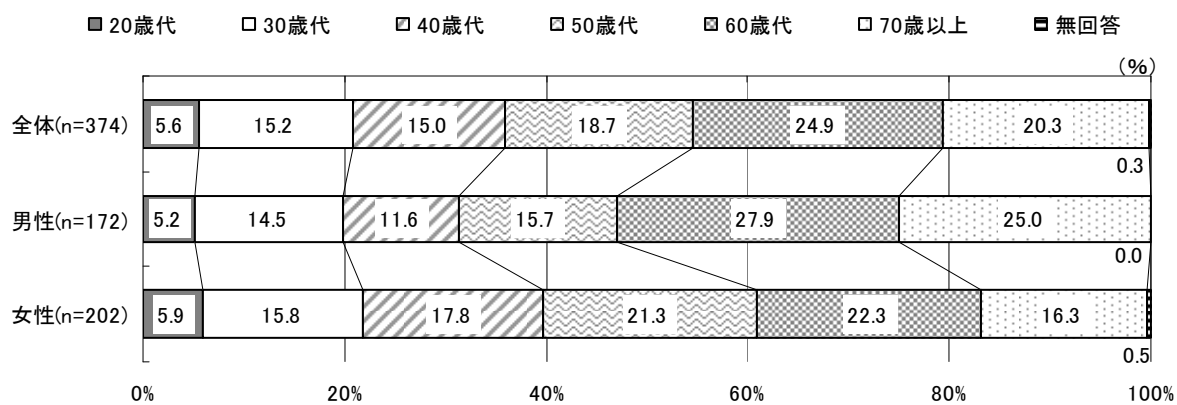
性別	男性	女性	無回答	合計
件数(人)	172	202	0	374
割合(%)	46.0	54.0	0.0	100.0



【年齢】

(人)

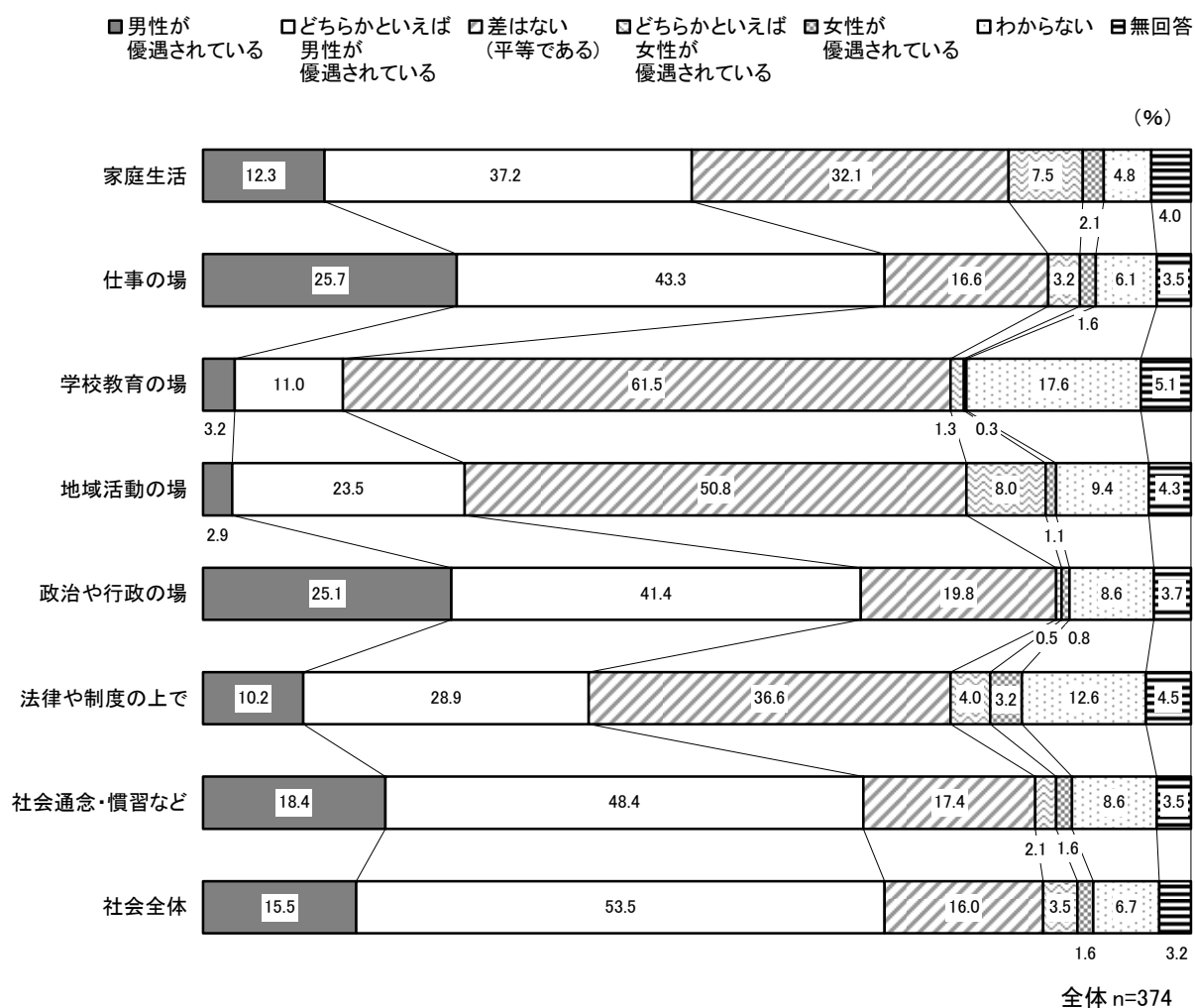
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	合計
全体 (n=374)	21	57	56	70	93	76	1	374
男性 (n=172)	9	25	20	27	48	43	0	172
女性 (n=202)	12	32	36	43	45	33	1	202



Ⅱ 調査結果

1 男女平等について

問1 あなたは、現在、次にあげるような分野や社会全体をみて、男女の地位などに差があると思いますか。 【回答は項目ごとにひとつ】



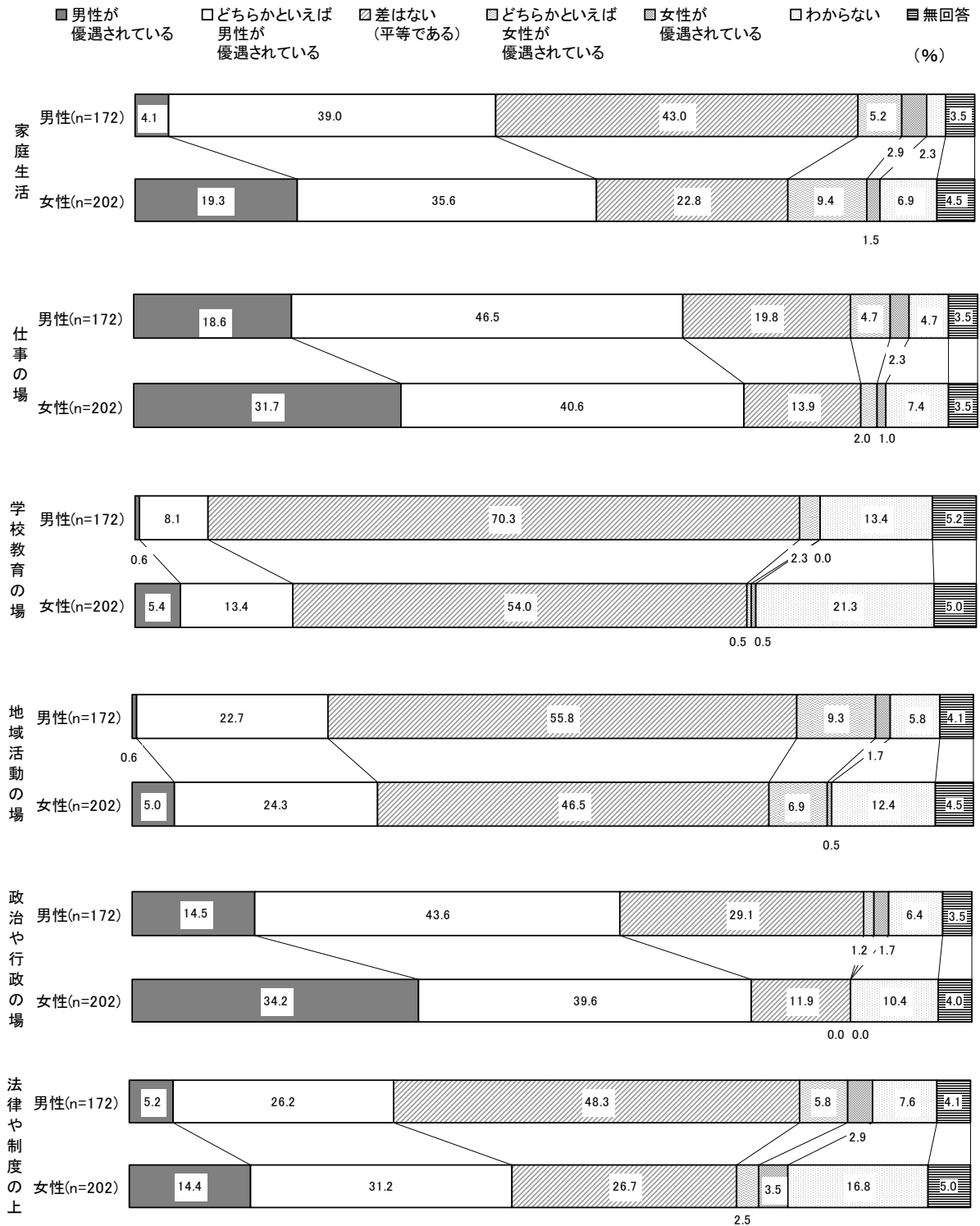
【社会全体】

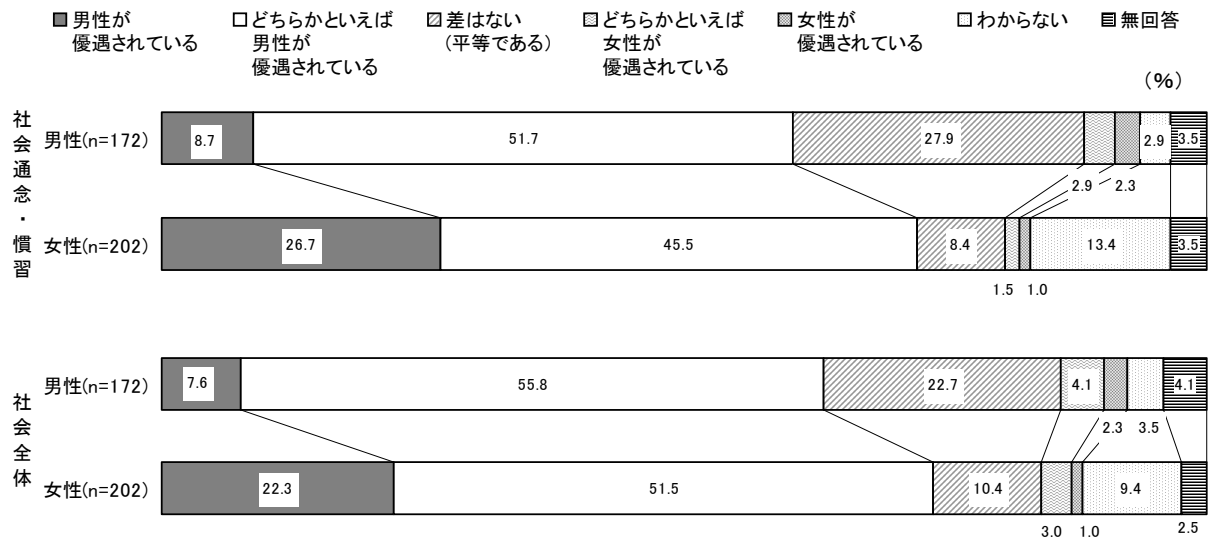
男女の地位の平等感について、「男性が優遇されている」及び「どちらかといえば男性が優遇されている」（以下、「男性優遇」といいます。）は 69.0%、「差はない」は 16.0%、「女性が優遇されている」及び「どちらかといえば女性が優遇されている」（以下、「女性優遇」といいます。）は 5.1%となっています。

【分野別】

『学校教育の場』『地域活動の場』において「差はない」と感じている割合は半数以上いますが、『家庭生活』『仕事の間』『政治や行政の場』『法律や制度の上で』『社会通念・習慣など』の各分野においては「男性優遇」と感じている割合が多くなっています。

男女別比率





【社会全体】

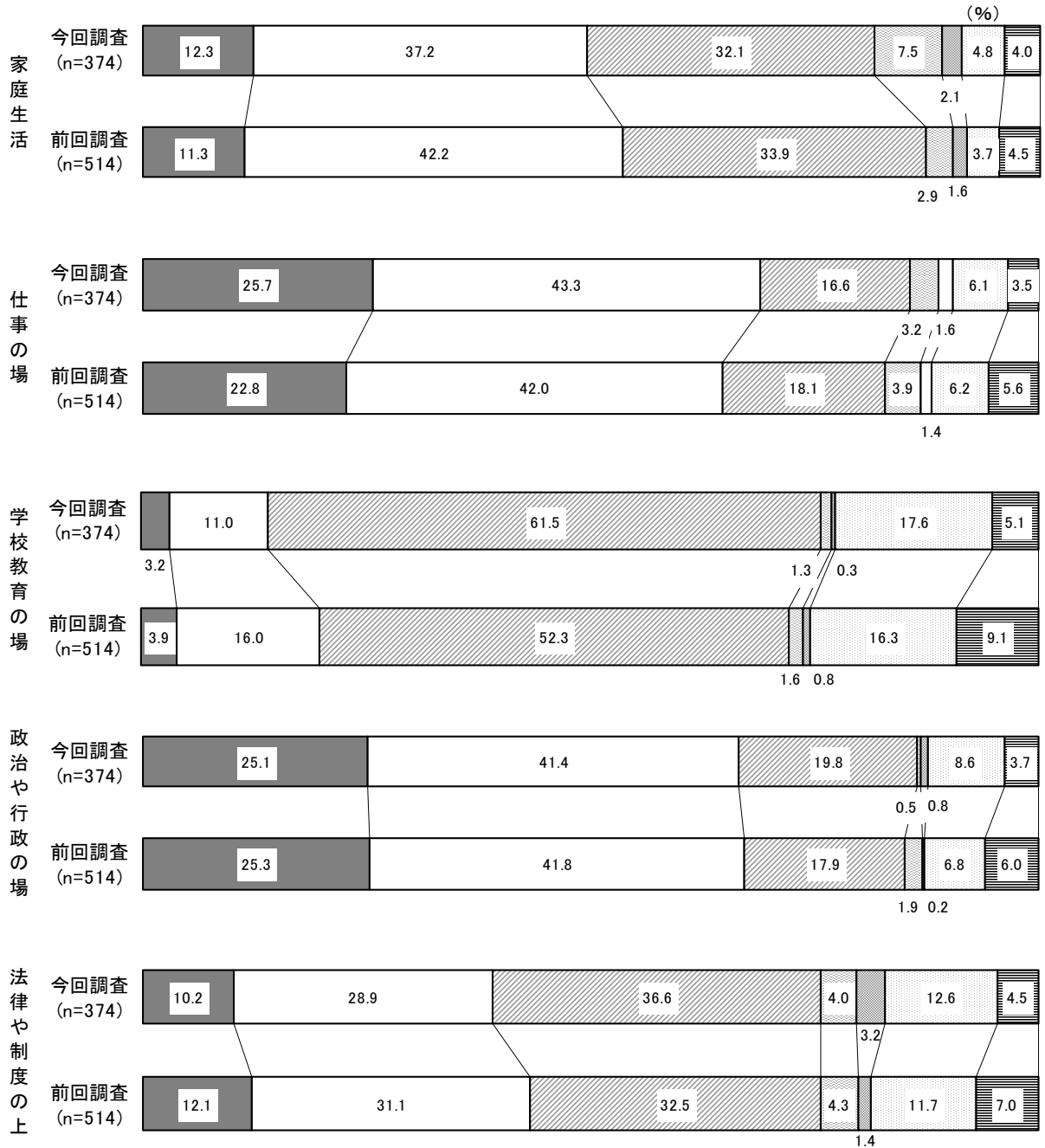
女性は男性に比べて「差はない」と感じている割合は低く、「男性が優遇されている」の割合が高くなっています。

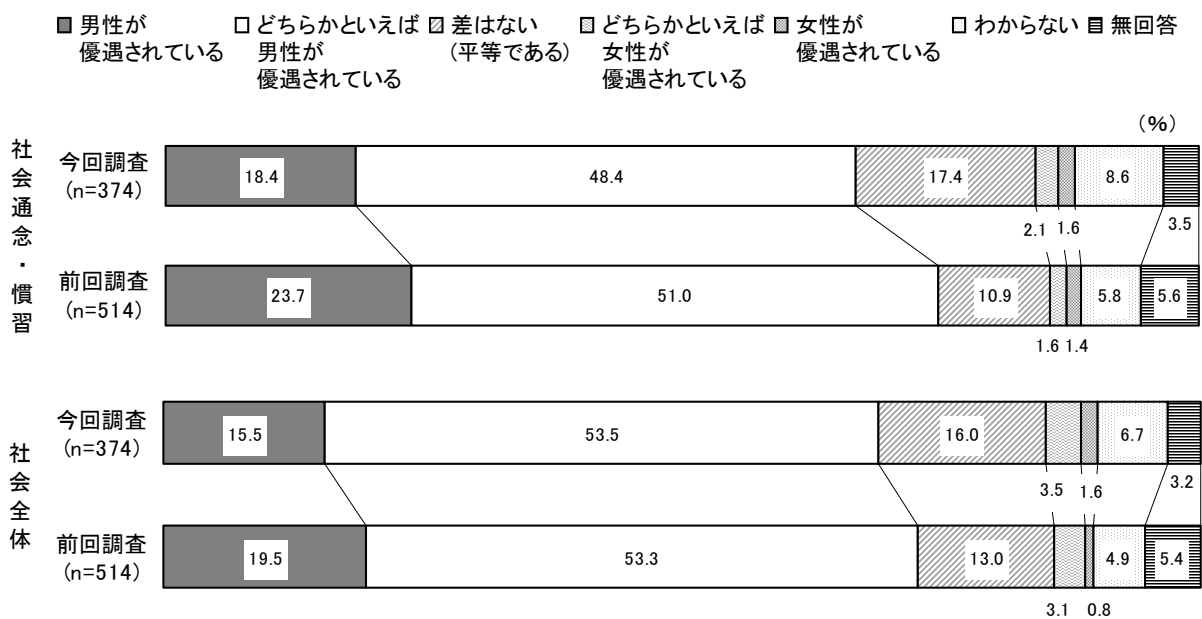
【分野別】

『政治や行政の場』で、「男性優遇」は、男性 58.1%女性 73.8%で 15.7 ポイントの差が生じています。また、『法律や制度の上で』で、「男性優遇」は、男性 31.4%女性 45.6%で 14.2 ポイントの差となっています。

■ 前回調査（平成 19 年）との比較

■ 男性が優遇されている □ どちらかといえば男性が優遇されている ▨ 差はない（平等である） ▩ どちらかといえば女性が優遇されている ■ 女性が優遇されている □ わからない ▨ 無回答





前回の調査（平成 19 年）との比較

【分野別】

『家庭生活』では、「男性優遇」は前回 53.5%今回 49.5%で 4.0 ポイント減少し、「差はない」は前回 33.9%今回 32.1%で 1.8 ポイント減少しています。

『仕事の間』では、「男性優遇」は、前回 64.8%今回 69.0%で 4.2 ポイント増加し、「差はない」は前回 18.1%今回 16.6%で 1.5 ポイント減少しています。

『学校教育の間』では、「男性優遇」は、前回 19.9%今回 14.2%で 5.7 ポイント減少し、「差はない」は前回 52.3%今回 61.5%で 9.2 ポイント増加しています。

『政治や行政の間』では、「男性優遇」は、前回 67.1%今回 66.5%でほぼ同じ割合になっており、「差はない」は前回 17.9%今回 19.8%で 1.9 ポイント増加しています。

『法律や制度の上』では、「男性優遇」は、前回 43.2%今回 39.1%で 4.1 ポイント減少し、「差はない」は前回 32.5%今回 36.6%で 4.1 ポイント増加しています。

『社会通念・慣習など』では、「男性優遇」は前回 74.7%今回 66.8%で 7.6 ポイント減少し、「差はない」が前回 10.9%今回 17.4%で 6.5 ポイント増加しています。

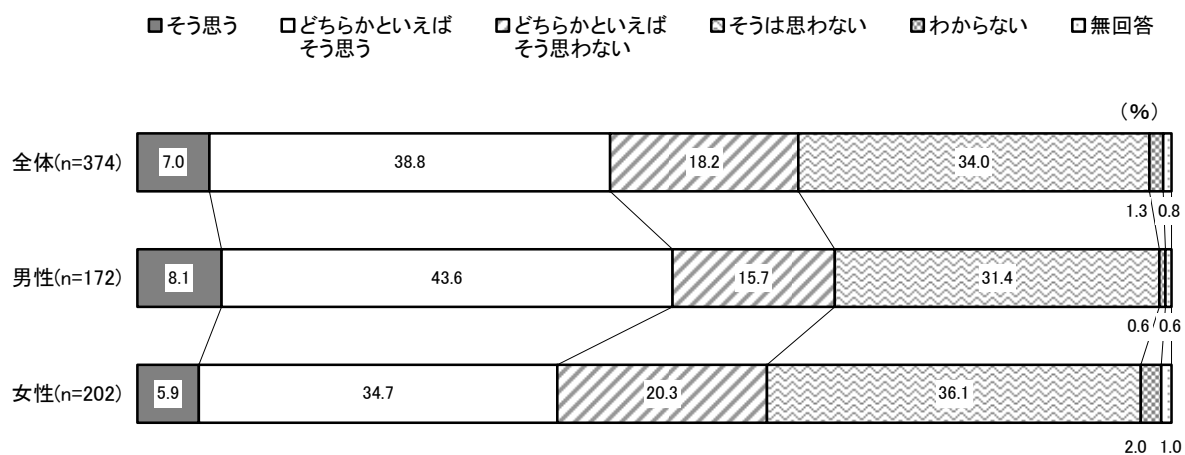
【社会全体】

「男性優遇」は前回 72.8%今回 69.0%で 3.8 ポイント減少し、「差はない」は前回 13.0%今回 16.0%で 3.0 ポイント増加しています。

○今回の問いでは、『地域活動の間』の項目を加えていますが、平成 19 年の調査項目に無いため比較していません。

2 役割分担意識について

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方をどう思われますか。 【回答はひとつ】



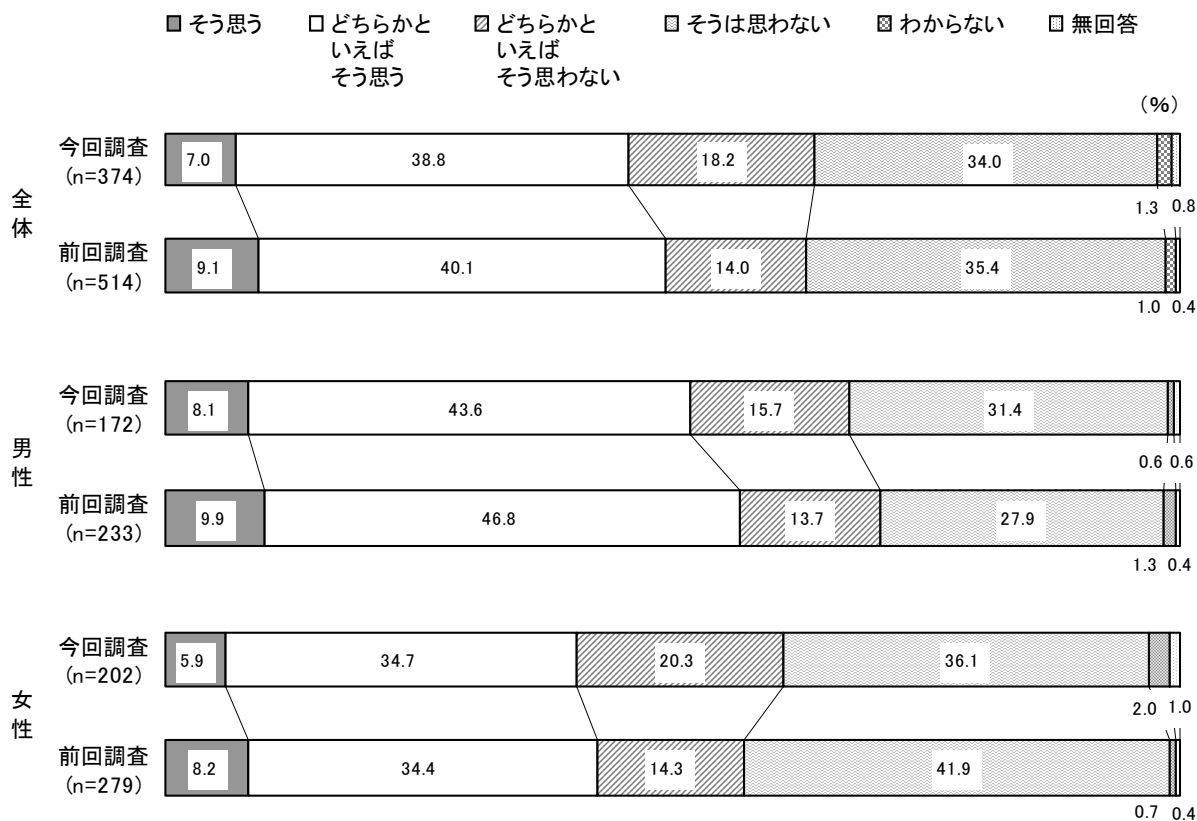
【全体】

『男は仕事、女は家庭』という考え方については、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」（以下、「思う」といいます。）は45.8%、「そうは思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」（以下、「思わない」といいます。）は52.2%になっています。

【性別】

男性では「思う」の51.7%が「思わない」の47.1%を4.6ポイント上回っているのに対し、女性では「思わない」の56.4%が「思う」の40.6%を15.8ポイント上回っており、『男は仕事、女は家庭』という考え方は、男性は「思う」、女性は「思わない」という傾向にあります。

■ 前回調査（平成 19 年）との比較



【全体】

「思う」は前回 49.2%今回 45.8%で 3.4%ポイント減少し、「思わない」は前回 49.4%今回 52.2%で 2.8ポイント増加しています。

【性別】

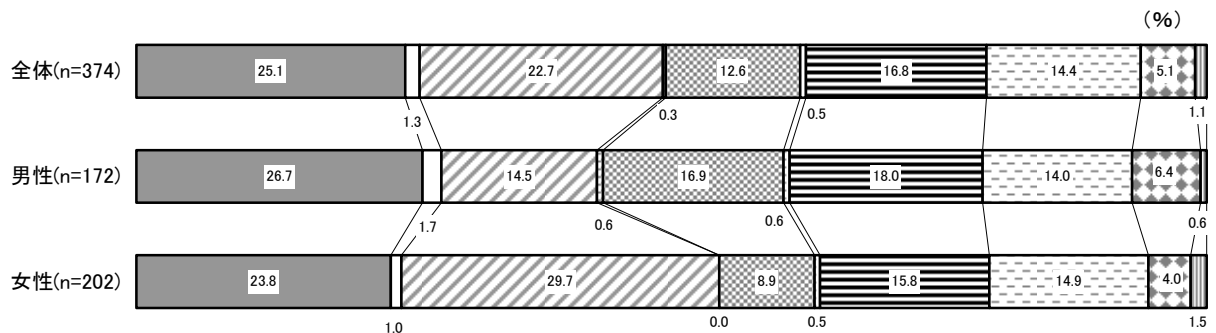
男性では「思う」は前回 56.7%今回 51.7%で 5.0ポイント減少し、「思わない」は前回 41.6%今回 47.1%で 5.5ポイント増加しています。

女性では「思う」は前回 42.6%今回 40.6%で 2.0ポイント減少し、「思わない」は前回 56.2%今回 56.4%でほぼ同じ割合となっています。

問3 家庭での男女の役割分担について、あなたの家庭ではどうなっていますか。

【回答はひとつ】

- 男は仕事、女は家事・育児を分担している
- 女は仕事、男は家事・育児を分担している
- 男女とも仕事をし、家事・育児は主に女が分担している
- 男女とも仕事をし、家事・育児は主に男が分担している
- 男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担している
- 男女とも仕事をし、家事・育児は第三者の協力がある
- 役割分担はしていない
- 単身者なのでわからない
- その他
- 無回答



【全体】

回答数が多い順としては、「男は仕事、女は家事・育児を分担している」が25.1%、「男女とも仕事をし、家事・育児は主に女が分担している」が22.7%、「役割分担はしていない」が16.8%となっています。

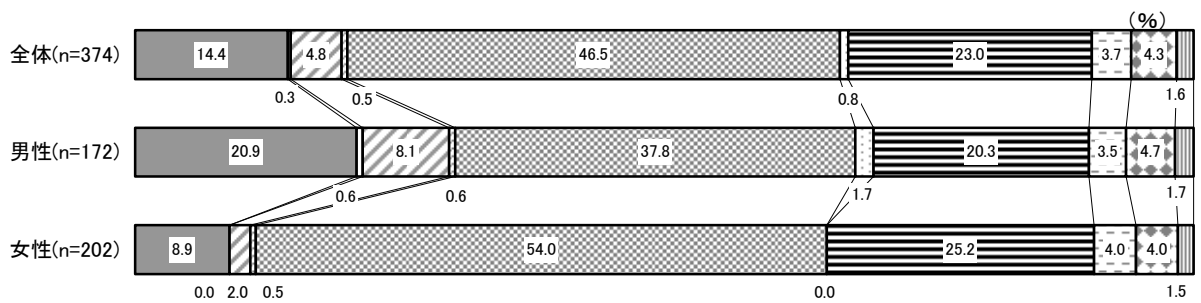
【性別】

男性では「男は仕事、女は家事・育児を分担している」の26.7%が、「男女とも仕事をし、家事・育児は主に女が分担している」の14.5%を12.2ポイント上回っているのに対し、女性では「男女とも仕事をし、家事・育児は主に女が分担している」の29.7%が、「男は仕事、女は家事・育児を分担している」の23.8%を5.9ポイント上回っています。

問4 家庭での男女の役割分担について、あなたは本来どうあるべきだと思いますか。

【回答はひとつ】

- 男は仕事、女は家事・育児を分担する
- 女は仕事、男は家事・育児を分担する
- 男女とも仕事をし、家事・育児は主に女が分担する
- 男女とも仕事をし、家事・育児は主に男が分担する
- 男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担する
- 男女とも仕事をし、家事・育児は第三者に任せる
- 役割分担する必要はない
- その他
- わからない
- 無回答



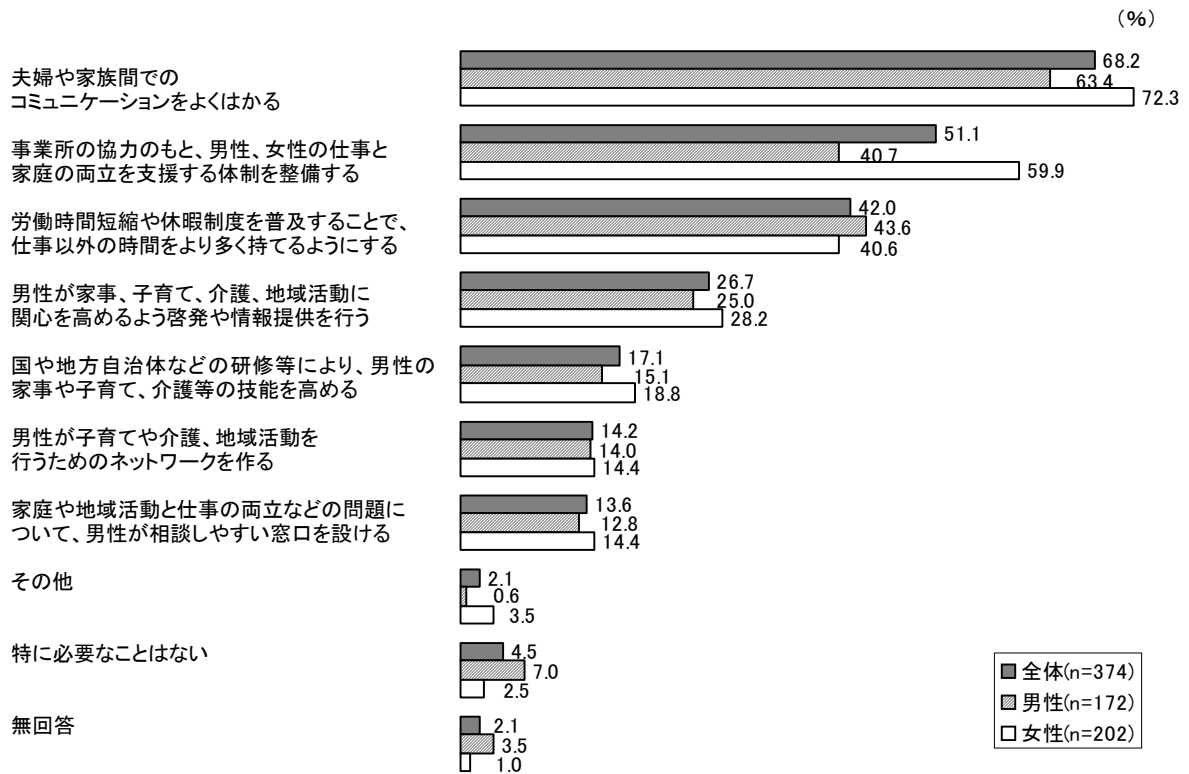
【全体】

回答数が多い順としては、「男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担する」46.5%、「役割分担する必要はない」23.0%、「男は仕事、女は家事・育児を分担する」14.4%の順となっています。

【性別】

「男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担する」は女性が54.0%と5割を超えています。

問5 今後、男性が女性とともに、家事・子育て・介護・地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。 【複数回答】



【全体】

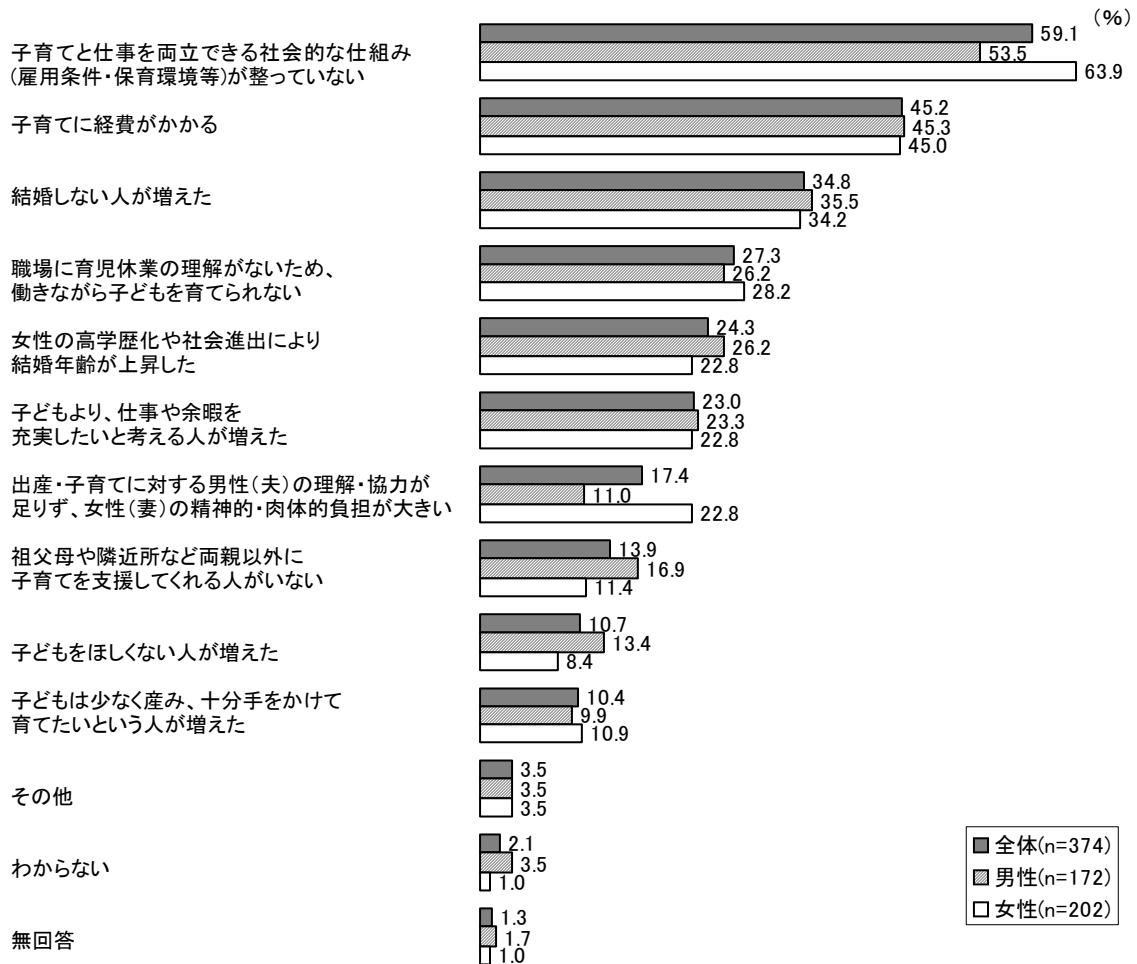
「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」が68.2%と最も多く、「事業所の協力のもと、男性、女性の仕事と家庭の両立を支援する体制を整備する」が51.1%と、これらが5割を超えています。次いで、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする」42.0%、「男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行う」26.7%、「国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高める」17.1%、「男性が子育てや介護、地域活動を行うためのネットワークを作る」14.2%、「家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設ける」13.6%の順となっています。

【性別】

男女の間で最も差が見られた項目は「事業所の協力のもと、男性、女性の仕事と家庭の両立を支援する体制を整備する」で、女性は59.9%であるのに対して、男性では40.7%と19.2ポイントの差となっています。

3 出産・子育てについて

問6 現在、一人の女性が一生のうちに産む子どもの数は、年々減りつづけています。このように出生率が低下したのはなぜだと思いますか。【回答は3つまで】



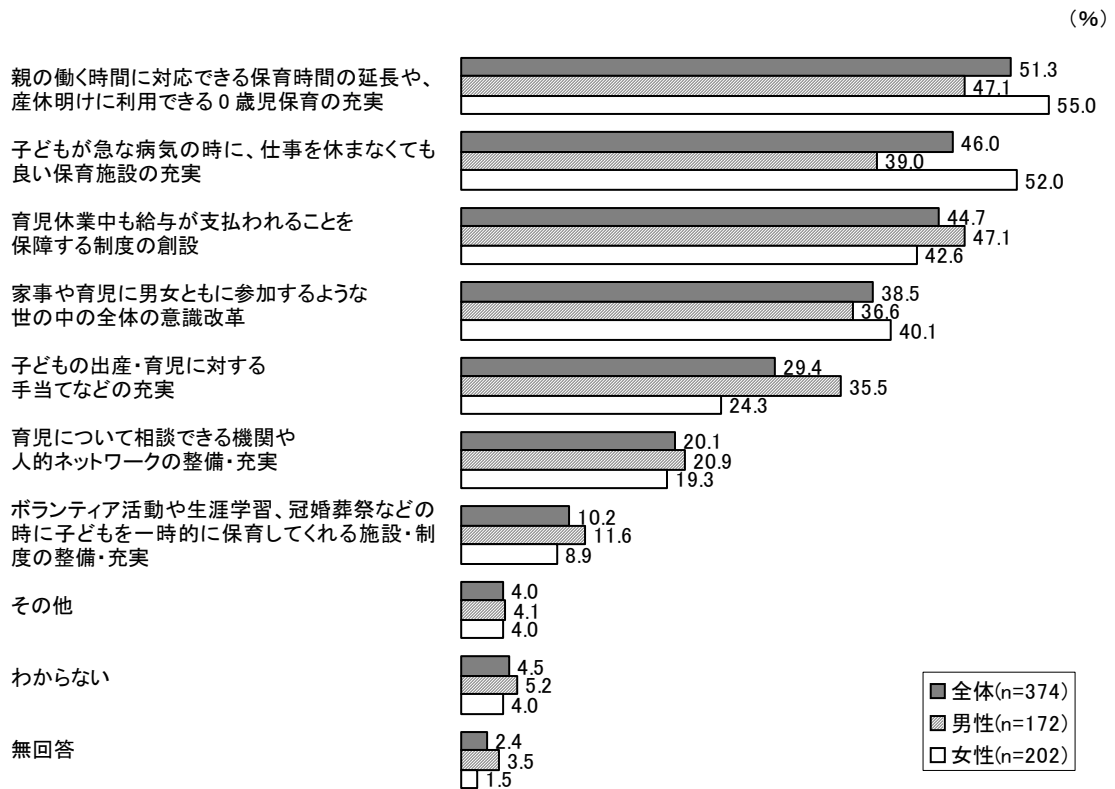
【全体】

「子育てと仕事を両立できる社会的な仕組みが整っていない」が59.1%と最も多く、次いで「子育てに経費がかかる」45.2%、「結婚しない人が増えた」34.8%、「職場に育児休業の理解がないため働きながら子どもを育てられない」27.3%、「女性の高学歴化や社会進出により結婚年齢が上昇した」24.3%、「子どもより、仕事や余暇を充実したいと考える人が増えた」23.0%、「出産・子育てに対する男性(夫)の理解・協力が足りず、女性の精神的・肉体的負担が大きい」17.4%、「祖父母や隣近所など両親以外に子育てを支援してくれる人がいない」13.9%、「子どもをほしくない人が増えた」10.7%、「子どもは少なく産み、十分手をかけて育てたいという人が増えた」10.4%の順になっています。

【性別】

男女の間で最も差がみられた項目は、「出産・子育てに対する男性(夫)の理解・協力が足りず、女性の精神的・肉体的負担が大きい」で、女性が22.8%であるのに対し、男性では11.0%と11.8ポイントの差となっています。

問7 あなたは、子どもを産みやすい、育てやすい環境づくりのためには、どのようなことが必要だと思いますか。 【回答は3つまで】



【全体】

「親の働く時間に対応できる保育時間の延長や、産休明けに利用できる0歳児保育の充実」が51.3%と最も多く、次いで「子どもが急な病気の時に、仕事を休まなくても良い保育施設の充実」46.0%、「育児休業中も給与が支払われることを保障する制度の創設」44.7%、「家事や育児に男女ともに参加するような世の中の全体の意識改革」38.5%、「子どもの出産・育児に対する手当などの充実」29.4%、「育児について相談できる機関や人的ネットワークの整備・充実」20.1%、「ボランティア活動や生涯学習、冠婚葬祭などの時に子どもを一時的に保育してくれる施設・制度の整備・充実」10.2%の順となっています。

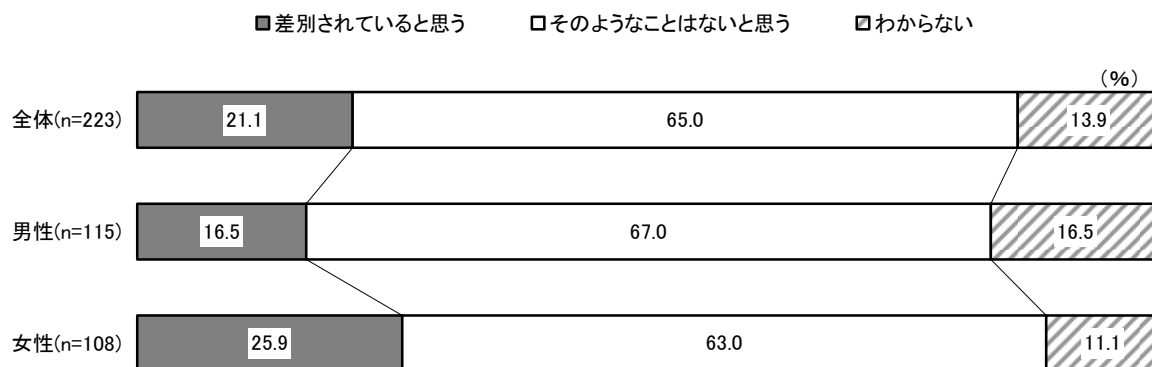
【性別】

男女の間で最も差がみられた項目は、「子どもが急な病気の時に、仕事を休まなくても良い保育施設の充実」で、女性が52.0%と男性の39.0%を13.0ポイント上回っています。また、「子どもの出産・育児に対する手当などの充実」は男性が35.5%と女性の24.3%を11.2ポイント上回っています。

4 就労について

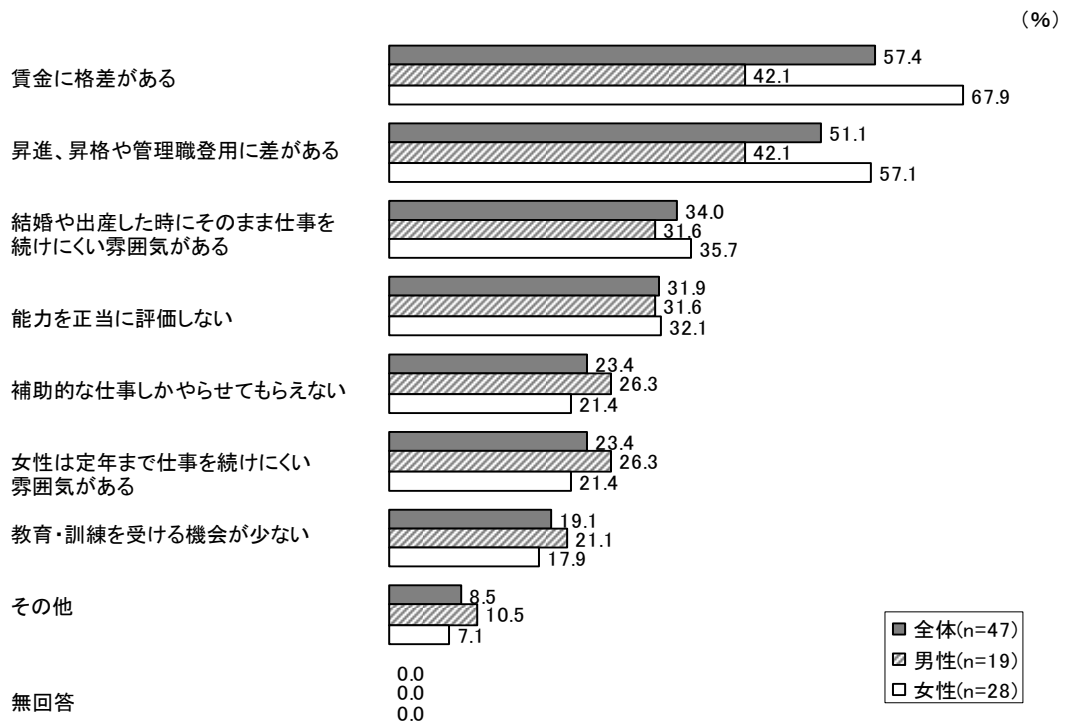
問8 働いている方にお聞きします。

あなたの今の職場では、女性は男性に比べ差別されていると思いますか。【回答はひとつ】



今働いている職場で、女性は男性に比べ差別されているかについて、全体では、職場において女性が男性に比べて「差別されていると思う」は21.1%、「そのようなことはないと思う」は65.0%となっています。

問8-1 問8で「差別されていると思う」と答えた方にお聞きします。それは具体的にどのようなことですか。 【複数回答】



【全体】

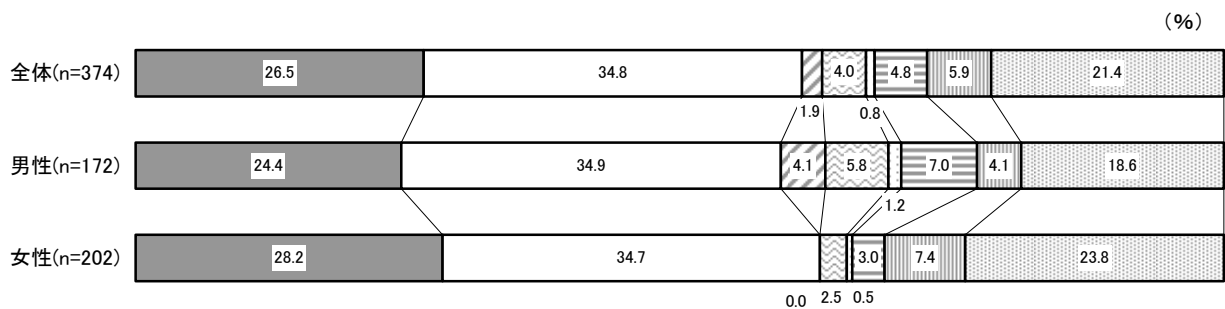
差別されていると思う項目については、「賃金に格差がある」57.4%、「昇進・昇格や管理職登用に差がある」51.1%と高く、「結婚や出産した時にそのまま仕事を続けにくい雰囲気がある」34.0%、「能力を正當に評価しない」31.9%、「補助的な仕事しかやらせてもらえない」「女性は定年まで仕事を続けにくい雰囲気がある」23.4%、「教育・訓練を受ける機会が少ない」19.1%の順となっています。

【性別】

男女の間で最も差がみられた項目は、「賃金に格差がある」で、女性が67.9%と男性の42.1%を25.8ポイント上回っています。また「昇進・昇格や管理職登用に差がある」も、女性が57.1%と男性の42.1%を15.0ポイント上回っています。

問9 あなたは、女性の仕事と家庭の関わりについて、どのように考えますか。【回答はひとつ】

- 結婚や出産にこだわらず、仕事を続けるべきだと思う
- 結婚や出産後は仕事をやめ、育児が一段落した後、再び仕事に就くべきだと思う
- 結婚を機会に仕事をやめ、家事に専念すべきだと思う
- 出産を機会に仕事をやめ、家事に専念すべきだと思う
- 女性は仕事に就かないほうがよいと思う
- その他
- わからない
- 無回答



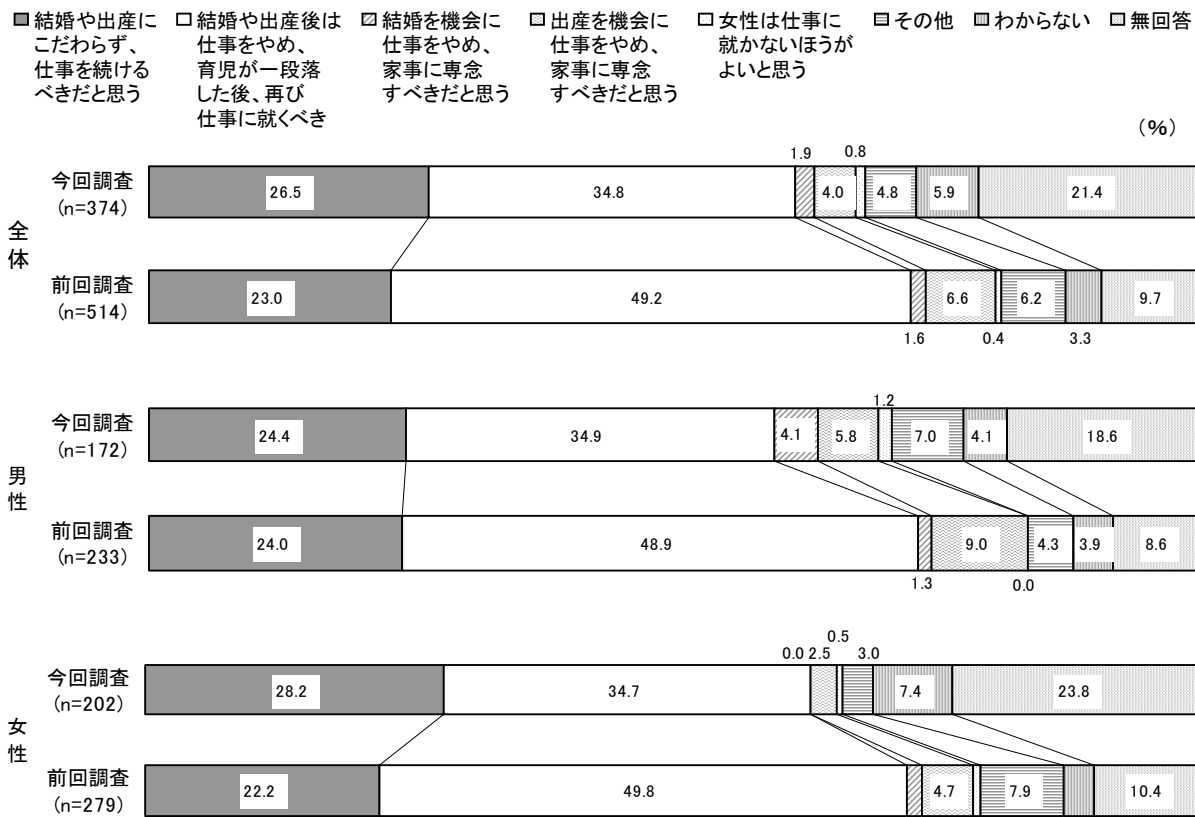
【全体】

「結婚や出産後は仕事をやめ、育児が一段落した後、再び仕事に就くべきだと思う」が34.8%と最も多く、次いで「結婚や出産にこだわらず、仕事を続けるべきだと思う」26.5%、「出産を機会に仕事をやめ、家事に専念すべきだと思う」4.0%、「結婚を機会に仕事をやめ、家事に専念すべきだと思う」1.9%の順となっています。

【性別】

「結婚や出産後は仕事をやめ、育児が一段落した後、再び仕事に就くべきだと思う」は男女ともに同様の割合となっていますが、「結婚や出産にこだわらず、仕事を続けるべきだと思う」は男性24.4%に対し女性は28.2%と高く、「結婚を機会に仕事をやめ、家事に専念すべきだと思う」は男性4.1%に対し女性は0.0%と回答がありませんでした。

■ 前回調査（平成 19 年）との比較



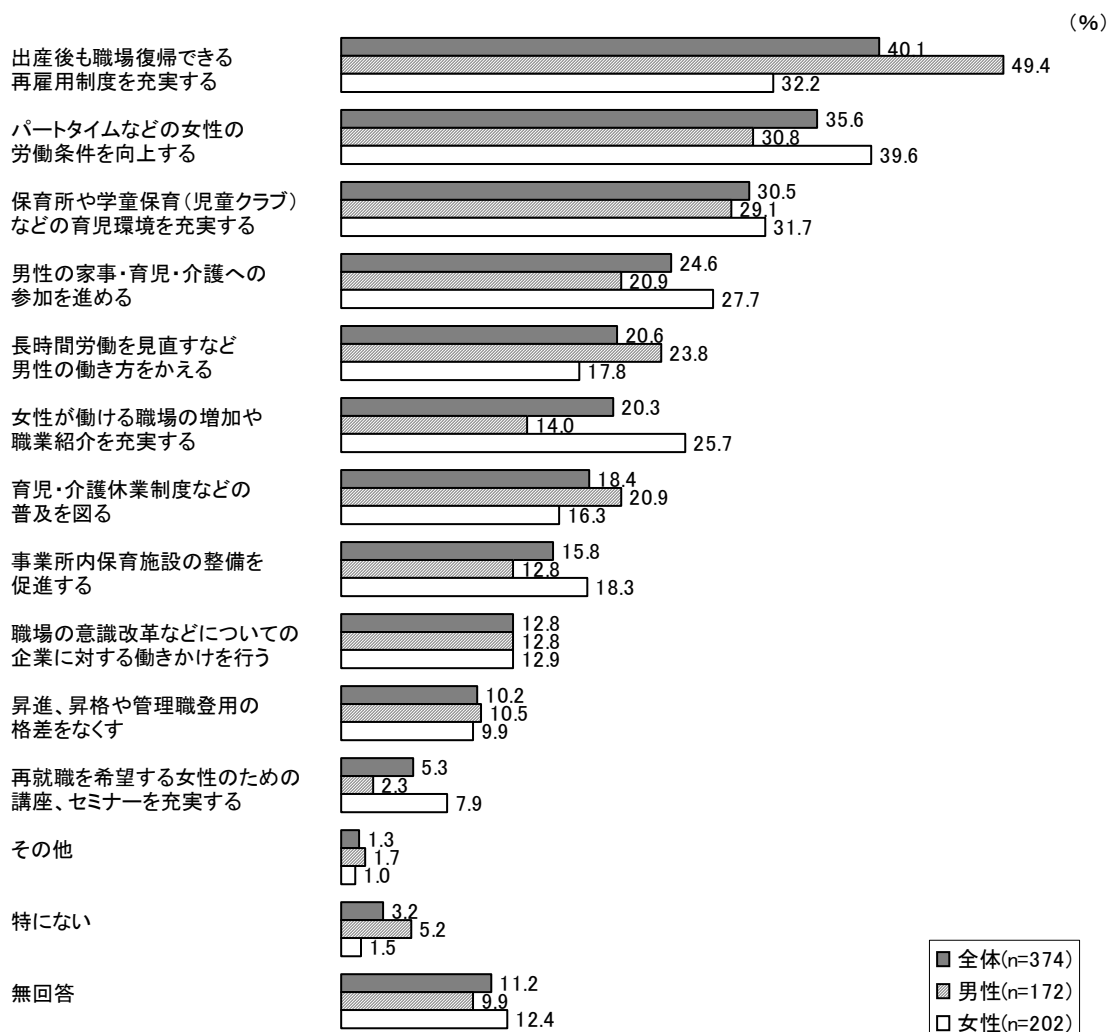
【全体】

「結婚・出産後は仕事をやめ育児が一段落した后再就職」は、前回 49.2%今回 34.8%で 14.4ポイント減少しています。

【性別】

男性の「結婚・出産にこだわらず仕事を続けるべき」は、前回 24.0%今回 24.4%とほぼ変わらず、「結婚・出産後は仕事をやめ育児が一段落した后再就職」は、前回 48.9%今回 34.9%で 14.0ポイント減少しています。女性の「結婚・出産にこだわらず仕事を続けるべき」は、前回 22.2%今回 28.2%で 6.0ポイント増加し、「結婚・出産後は仕事をやめ育児が一段落した後、再び仕事に就くべき」は、前回 49.8%今回 34.7%で 15.1ポイント減少しています。

問 10 あなたは、これから女性が働きやすい環境をつくるためには、どのような事が必要だと思いますか。 【回答は3つまで】



【全体】

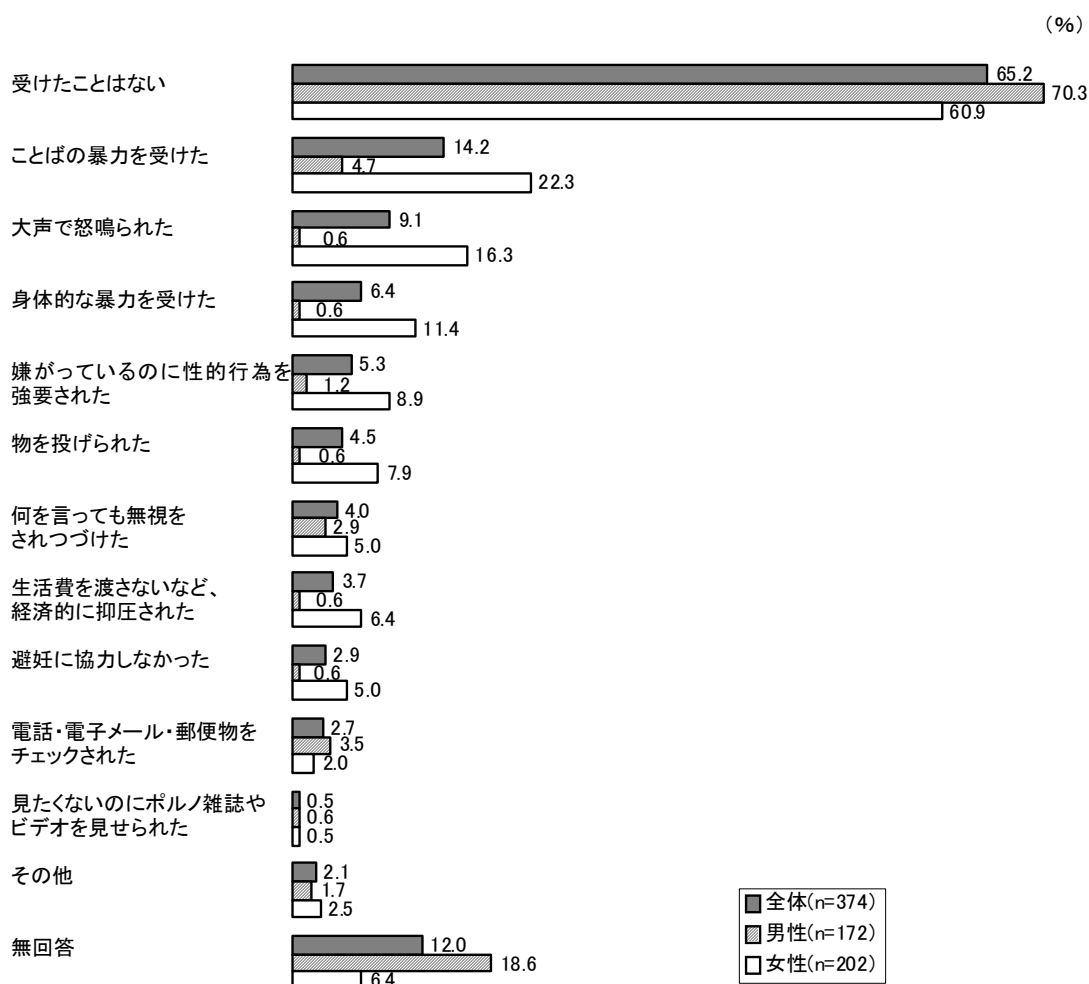
「出産後も現場復帰できる再雇用制度を充実する」40.1%、「パートタイムなどの女性の労働条件を向上する」35.6%、「保育所や学童保育（児童クラブ）などの育児環境を充実する」30.5%の順となっています。

【性別】

男性では「出産後も職場復帰できる再雇用制度を充実する」49.4%が最も高く、女性は32.2%で、その差は11.7ポイントとなっています。女性では「パートタイムなどの女性の労働条件を向上する」が39.6%と最も高くなっています。

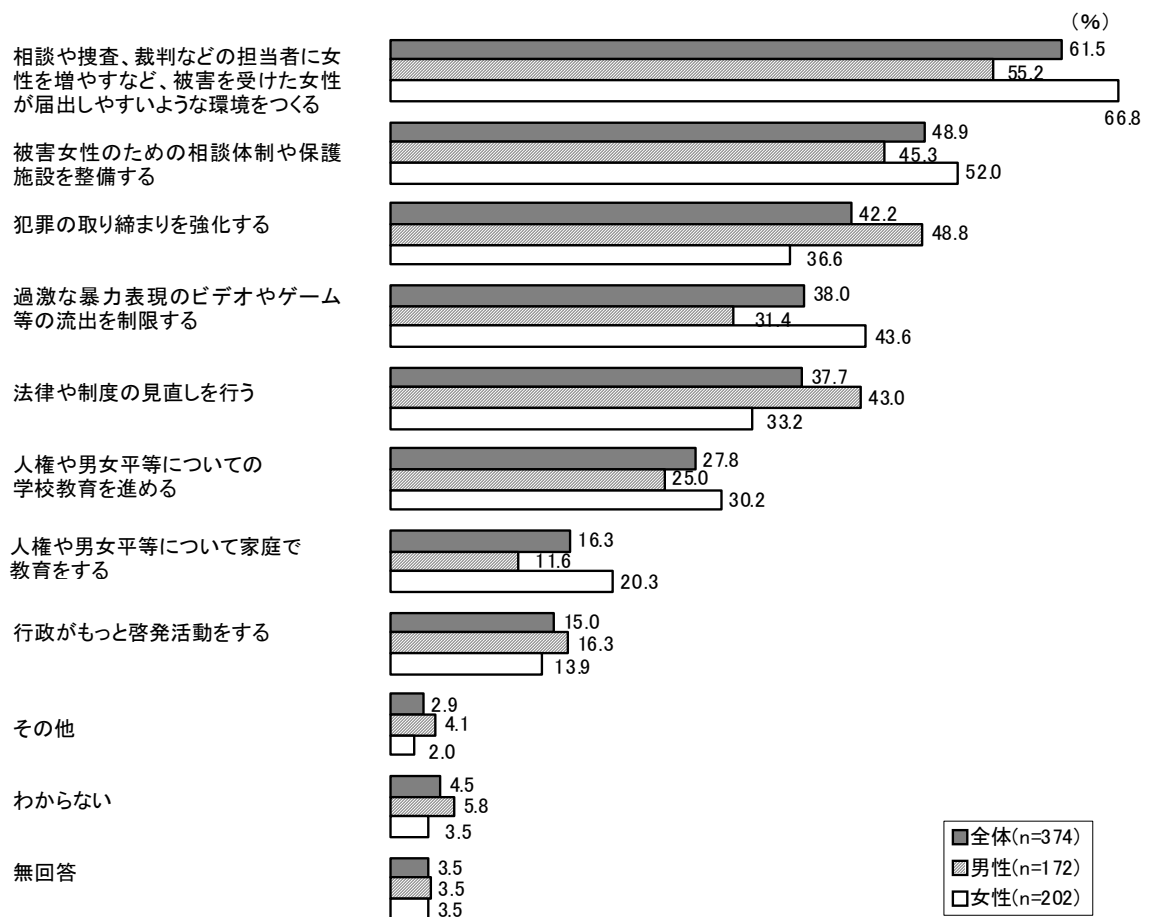
5 人権について

問 11 あなたはこれまで配偶者（事実婚や離別・死別を含む）や恋人などのパートナーから、次のようなドメスティック・バイオレンス（DV）を受けたことはありますか。【複数回答】



これまでに DV を受けた経験について、男性 70.3%女性 60.9%と男女ともに半数以上が「DV を受けた経験はない」と答えました。DV を受けた内容については「ことばの暴力を受けた」が女性 22.3%男性 4.7%と男女ともに最も高くなっています。

問 12 性犯罪、買売春、ドメスティック・バイオレンス (DV)、セクシュアル・ハラスメントなど、女性に対する暴力が大きな問題になっていますが、これらをなくするためには、どのようなしたらよいと思いますか。 【複数回答】



【全体】

「相談や捜査、裁判などの担当者に女性を増やすなど、被害を受けた女性が届出しやすいような環境をつくる」が 61.5%と最も多く、次いで「被害女性のための相談体制や保護施設を整備する」48.9%、「犯罪の取り締まりを強化する」42.2%、「過激な暴力表現のビデオやゲーム等の流出を制限する」38.0%、「法律や制度の見直しを行う」37.7%、「人権や男女平等についての学校教育を進める」27.8%、「人権や男女平等について家庭で教育をする」16.3%、「行政がもっと啓発活動をする」15.0%の順となっています。

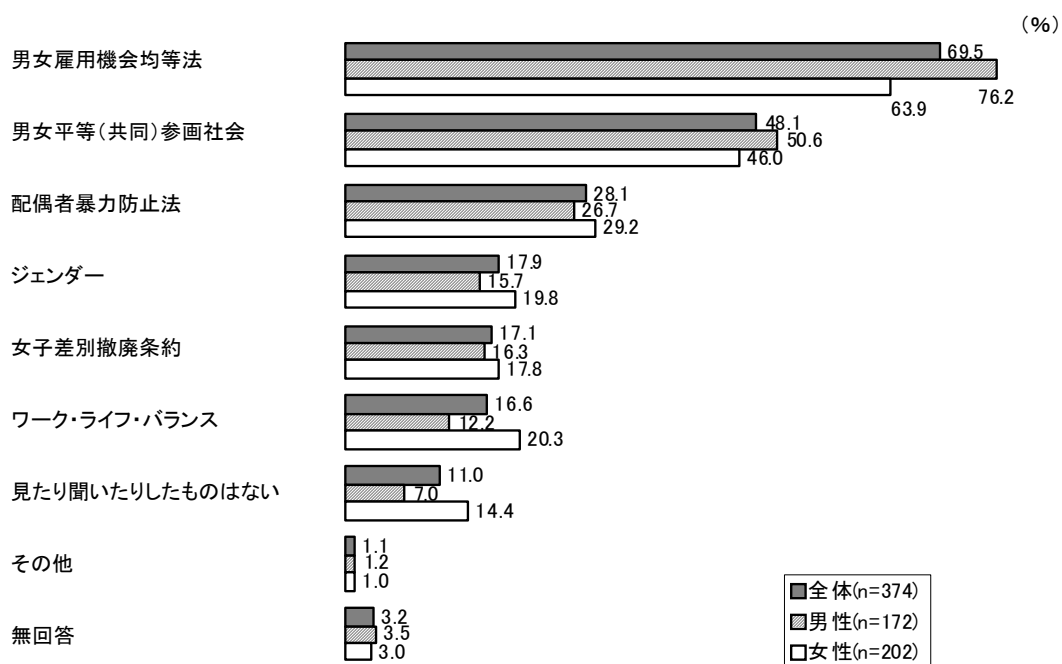
【性別】

男女の間で最も差がみられた項目は、「犯罪の取り締まりを強化する」男性 48.8%で、女性は 36.6%と 12.2 ポイント上回り、「過激な暴力表現のビデオやゲーム等の流出を制限する」は女性が 43.6%で男性の 31.4%を 12.2 ポイント上回っています。

6 男女平等参画社会の推進に向けて

問 13 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。

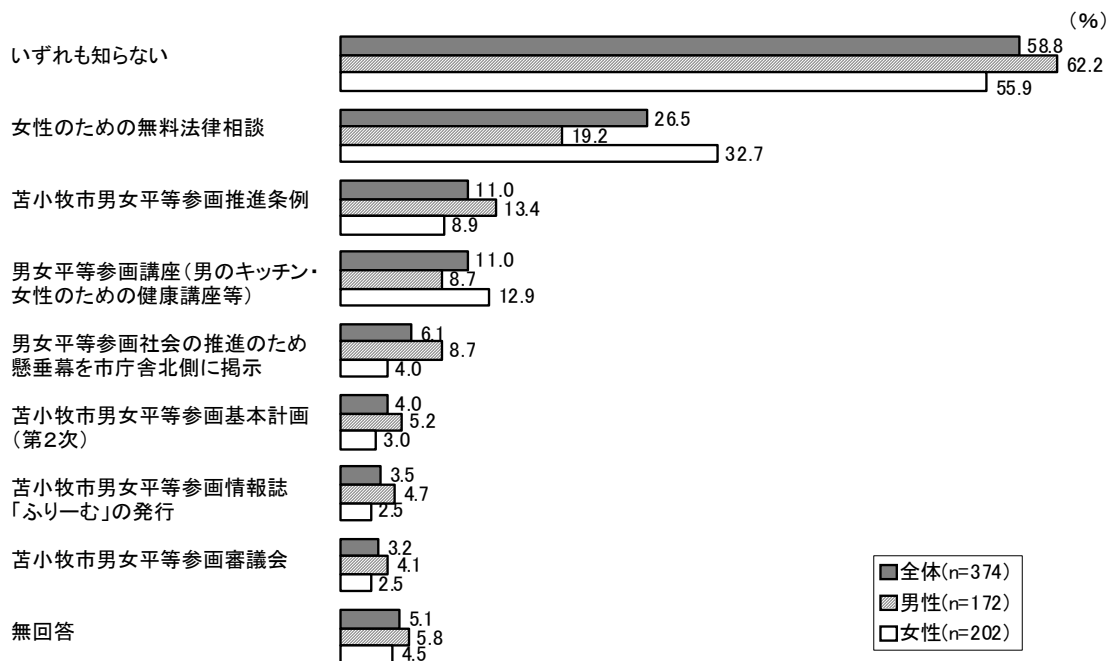
【複数回答】



男女平等参画に関する言葉について、全体では、「男女雇用機会均等法」69.5%、「男女平等（共同）参画社会」48.1%、「配偶者暴力防止法」28.1%、「ジェンダー」17.9%、「女子差別撤廃条約」17.1%、「ワーク・ライフ・バランス」16.6%、「見たり聞いたりしたものはない」11.0%の順となっています。

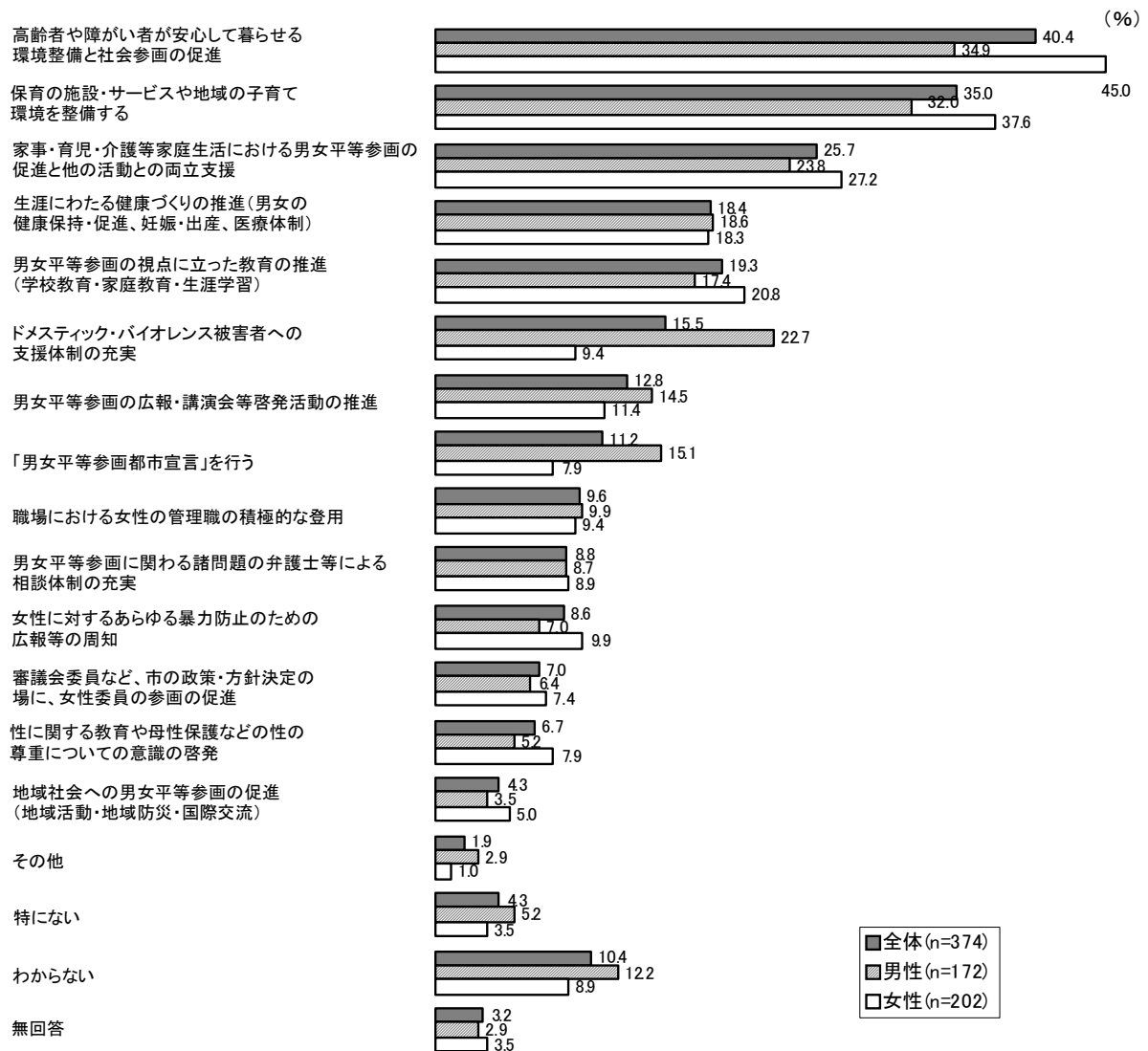
問 14 あなたは、市で取組んでいる次の男女平等参画に関する施策を知っていますか。

【複数回答】



市で取り組んでいる男女平等参画に関する施策について、「いずれも知らない」58.8%、「女性のための無料法律相談」26.5%、「男女平等参画講座(男のキッチン・女性のための健康講座等)」11.0%、「苫小牧市男女平等参画推進条例」11.0%、「男女平等参画社会の推進のため懸垂幕を市庁舎北側に掲示」6.1%、「苫小牧市男女平等参画基本計画(第2次)」4.0%、「苫小牧市男女平等参画情報誌「ふりーむ」の発行」3.5%、「苫小牧市男女平等参画審議会」3.2%の順となっています。

問 15 男女平等参画社会実現のために、今後、市はどのようなことに力を入れたらよいと思いませんか。 【回答は3つまで】



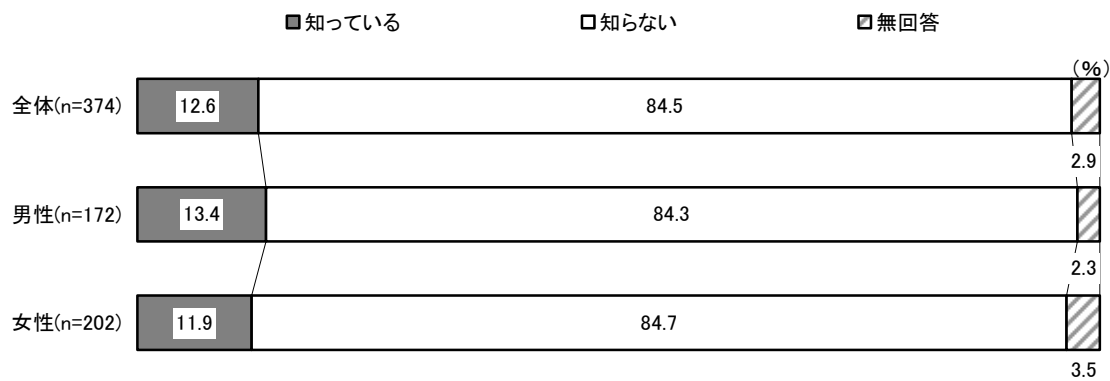
【全体】

「高齢者や障がい者が安心して暮らせる環境整備と社会参画の促進」が40.4%と最も多く、次いで「保育の施設・サービスや地域の子育て環境を整備する」35.0%、「家事・育児・介護等家庭生活における男女平等参画の促進と他の活動との両立支援」25.7%、「男女平等参画の視点に立った教育の推進(学校教育・家庭教育・生涯学習)」19.3%、「生涯にわたる健康づくりの推進(男女の健康保持・促進、妊娠・出産、医療体制)」18.4%、「ドメスティック・バイオレンス被害者への支援体制の充実」15.5%、「男女平等参画の広報・講演会等啓発活動の推進」12.8%、「男女平等参画都市宣言を行う」11.2%の順になっています。

【性別】

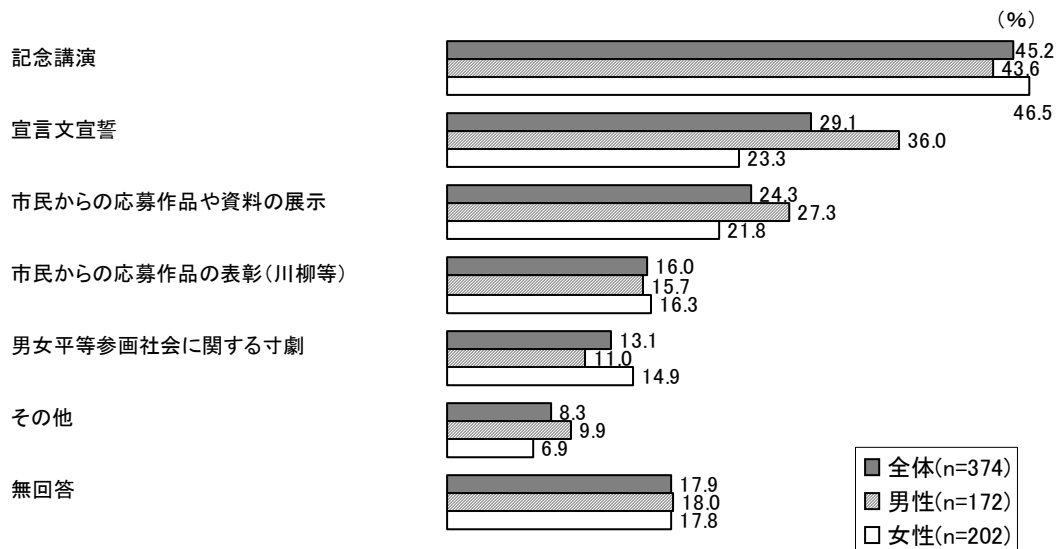
男女とも最も多かった回答は、「高齢者や障がい者が安心して暮らせる環境整備と社会参画の促進」となっています。男女の間で最も差がみられたのは「ドメスティック・バイオレンス被害者への支援体制の充実」で、男性22.7%に対して女性は9.4%で13.3ポイントの差となっています。

問 16 あなたは、男女平等参画宣言の方法としての「男女平等参画都市宣言」について、知っていますか。 【回答はひとつ】



男女平等参画宣言の方法としての「男女平等参画都市宣言」について、全体として、「知らない」84.5%、「知っている」12.6%となっています。

問 17 市は「男女平等参画都市宣言」の取組みを行う考えていますが、記念式典の内容はどのようなものが良いと思いますか。 【回答は3つまで】



男女平等参画都市宣言をした際の記念式典の内容はどのようなものが良いかについて、全体として、「記念講演」45.2%、「宣言文宣誓」29.1%、「市民からの応募作品や資料の展示」24.3%、「市民からの応募作品の表彰（川柳等）」16.0%、「男女平等参画社会に関する寸劇」13.1%の順となっています。

Ⅲ 意見・要望

1 設問別意見

男女平等について

問3 あなたの家庭での、男女の役割分担について

- ❖ 結婚していないのでわからない。 (女性 20歳代)
- ❖ 食事の用意は女 (男性 70歳以上)
- ❖ 男も家事のうちで出来ることを分担している。例えば食事の片付け、布団のあげ敷き、風呂清掃など。 (男性 70歳以上)
- ❖ 男は仕事、帰宅後育児参加。女は家事育児 (女性 30歳代)
- ❖ 退職者なので家事は分担している。 (女性 60歳代)
- ❖ 母子家庭 (女性 30歳代)
- ❖ 女は食事を作り、男は清掃 (男性 60歳代)
- ❖ 男は仕事、女は短時間の仕事と家事。体調が悪い時は男が協力して家事をしている。 (女性 30歳代)
- ❖ 男も手伝い出来る事はする。 (男性 60歳代)
- ❖ 定年後も家事は女が分担している。 (男性 70歳以上)
- ❖ 高齢のため、家事全般は子どもに任せている。 (女性 70歳以上)
- ❖ 現在妻が育休中なので(回答)1、春からは(回答)5 (男性 30歳代)
- ❖ 妻は仕事をしているので、退職後は家事は出来るだけ協力している。 (男性 70歳以上)
- ❖ 自分の出来る事は出来るだけ自分です。 (女性 70歳以上)
- ❖ 一部役割分担あり。 (男性 60歳代)
- ❖ 今は単身だが、以前は(回答)1だった。 (女性 50歳代)
- ❖ 子どもが独立している。 (男性 70歳以上)

問4 家庭での男女の役割分担について本来どうあるべきか

- ❖ 各家庭で都合の良い形を取れば良い。 (女性 50歳代)
- ❖ 男女分担が理想だが、仕事上の責任の有り方もある。 (男性 50歳代)
- ❖ 臨機応変に。 (男性 40歳代)
- ❖ 子どもが小さなうちは、女の人なかなか仕事はできないが、男の人から見たら、ずっと家において楽という考え方はやめ、男の人が自分で出来る範囲で家事育児を分担する。 (女性 20歳代)
- ❖ 男女ともに仕事し、家事は男、女は育児 (女性 20歳代)
- ❖ 役割分担というのではなく、お互いが出来る事をする。 (女性 50歳代)
- ❖ 必ずしもどちらかに決め付けしないで二人がどうするか考えて決めるのがよろしいかと！ (男性 50歳代)
- ❖ 話し合いで決めるべきだと思う。 (女性 30歳代)

- ❖ 仕事はしていませんので男、女といわず手伝う。 (男性 60歳代)
- ❖ 男は家事はしないと育っている。 (男性 70歳以上)
- ❖ お互いにストレスがたまらなければいいと思う (分け合える) (男性 30歳代)
- ❖ 各家庭で環境が異なるので、本来どうあるべきと決めるのはおかしい。 (男性 20歳代)
- ❖ その家庭それぞれでは? (男性 40歳代)
- ❖ お互い時間の都合もあります。 (女性 70歳以上)
- ❖ 独身なので興味無い。 (女性 40歳代)
- ❖ 役割分担する必要なし。手が空いてる人がすすんでやるべきだと思います。しかし、男性は仕事、女性は家事というのが普通になっています。 (女性 50歳代)

問5 男性が女性とともに家事・子育て・介護・地域活動に積極的に参加するためには

- ❖ 意識がなければ (回答) 2のように時間を作れても自分のためにしか使わない。 (女性 40歳代)
- ❖ 出産・子育て・医療・地域活動に「これは助かる」と思える助成金を出さないと、現状の改善の可能性は低いと思います。 (女性 20歳代)
- ❖ 子育て、介護などに時間をさく事により収入が減る事がない様、何らかの保障があると良い。 (女性 50歳代)
- ❖ 子育て・介護は必ず煮詰まる。その時、国・役所がどれだけフォローできるか? (男性 50歳代)

出産・子育てについて

問6 出生率が低下した理由について

- ❖ 何ごともしれば良いという考えが若い人に増えた。 (男性 50歳代)
- ❖ 景気低迷により将来への経済的不安が強く、子どもを産めない。 (男性 30歳代)
- ❖ 女も勝手な人が増えた事、男を男と見ない女が強くなり過ぎ。女も謙虚な気持ちを持つ事 (女性 60歳代)
- ❖ 子どもは親が育てるのが当たり前前の心構えがなくなってきたと思います。 (女性 70歳代以上)
- ❖ 考えすぎで、子どもを持たない人が増えたと思う。 (女性 40歳代)
- ❖ 男性が女性に甘えすぎる。生活をしっかり考えていない。 (女性 60歳代)
- ❖ 子どもができない人も結婚できない人も増えた。 (女性 40歳代)
- ❖ 雇用、収入の不安定と将来の不安 (女性 50歳代)
- ❖ 本人にしても子どもという事に対して考えが浅すぎる!! 生活に対して・世界が浅すぎる!! (女性 60歳代)
- ❖ 経費がかかる分だけ、給料が順調に上がっていく時代ではないから。 (女性 70歳以上)
- ❖ 経済不況、それに伴う不安をあおる報道により将来の不安が増えたから。 (男性 30歳代)
- ❖ 子どもが大人になったとき、苦労しそうでかわいそうだから。明るい未来が見えないから。 (女性 30歳代)

- ❖ 欲しくても授からない人がたくさんいる。 (女性 30歳代)
- ❖ 景気悪化 (男性 20歳代)
- ❖ 身勝手に我儘な人間ばかりが増えたから。 (男性 40歳代)
- ❖ 低所得で十分な教育が出来ない。老後の生活費が心配 (男性 60歳代)
- ❖ 夫婦別姓が進まない。婚外子が不利益になる。 (女性 40歳代)

問7 子どもを産みやすい・育てやすい環境づくりについて

- ❖ 結婚していないのでわからない。 (女性 20歳代)
- ❖ 苫小牧市は働く所がなく、子育てしづらい。 (男性 60歳代)
- ❖ 企業負担による、幼稚園・保育園の保健施設（保健室）の充実 (男性 20歳代)
- ❖ 一時入院できる病院があったらよい。 (女性 40歳代)
- ❖ 子どもが病気の時に、気がねなく仕事を休める意識や環境を整える。 (女性 30歳代)
- ❖ 事業主は、採用時に子どもの急病等学校行事参加によって、仕事を休むことに協力的な事を言うが、実際には不快感をあらわにする為、仕事を続けづらい。事業主側にもっと指導して欲しい。男性の仕事の方が女性の仕事より重要度が高い、との雰囲気があり、男性が休暇を取りづらい環境を改善すべきと思う。 (女性 40歳代)
- ❖ 小さい子どもがいると、(回答5)の理由で雇用してくれるところが少ないので、子育てに協力的な会社が増えてほしい。 (女性 30歳代)
- ❖ 子どもは産む時もお金がかかるが、小中高と成長と共にもかかる。社会的保障がされ、子どもの教育にもバックアップが（教育費等）あると、不安（お金の）が減ると思う。 (女性 30歳代)
- ❖ 景気回復 (男性 20歳代)
- ❖ 子どもに関係する事は無料にする。 (女性 50歳代)
- ❖ 制度が充実する程、親が子どもに対する愛情が薄れ、無責任になっている。 (男性 60歳代)
- ❖ 老後の社会保障制度の充実 (男性 60歳代)
- ❖ 子どものためには親が一番。子どもが病気の時に、しっかり休みがとれる・子どもの学校行事などでも休みがとれるような職場環境があると、仕事と育児の両立もしやすいと思います。 (女性 40歳代)
- ❖ シルバー世代に手助けしてもらう制度の充実 (女性 40歳代)
- ❖ 今の生活が優先で子育て意識が薄くなった。 (女性 70歳以上)

就労について

問8-1 職場で女性は男性に比べ差別されていると思う理由について

- ❖ 定年後の再雇用制度である条件が（昇進・昇格に差がある為）満たすのは男性のみ。男性が主になる作業に、ヘルプとして女性が頻繁に従事させられるが、逆のパターンはない。 (女性 40歳代)

- ❖ 結婚・出産時の不安定な就労時間が平等とは違う状況を生んでいる。女性にはリスクがある。
(男性 30歳代)
- ❖ 産休をとれない職種がある。
(男性 30歳代)
- ❖ 興味無し。
(女性 40歳代)

問9 女性の仕事と家庭の関わりについて

- ❖ 家庭によって違うから、どれがいいか言えない。
(女性 30歳代)
- ❖ 出産後は育児に専念し、子どもが幼稚園等へ行ったら働くとういと思う。
(女性 30歳代)
- ❖ 本人の希望を尊重するためどちらとも言えない。
(男性 40歳代)
- ❖ 退職ではなく休職扱いとなる事も選択できる様にする。
(男性 40歳代)
- ❖ 個々の条件に応じて対応すべきだと思います。
(男性 60歳代)
- ❖ 個々人の考えや立場によって、いろいろな関わり方があってよいと思う。
(女性 40歳代)
- ❖ 型にはまる事なく自分で考えて選択し、自分がしたい様にすればいい・・・精神的に自立している事が大切だと思う。
(女性 50歳代)
- ❖ 仕事は望むなら続けるべきだが、一時休業し（やめるのではなく）復帰する制度を民間事業所にも拡大させる。
(男性 60歳代)
- ❖ 結婚し、出産後、夫婦・会社・役所で相談し合う。
(男性 50歳代)
- ❖ 育児休業は最低1年間が必要である。心のふれあいが足りないと思います。
(男性 60歳代)
- ❖ それぞれの家庭や家族に合った形でよいと思う。「〇〇〇すべき」の考えでくくるべきではないのでは？
(女性 40歳代)
- ❖ 本人の意思を尊重した方がよいと思う。
(男性 30歳代)
- ❖ 働きたい時に仕事に就けて、子どもが病気などの時には休みやすいようになるとよい。
(女性 30歳代)
- ❖ 仕事を続けたいのなら仕事をすればいいし、家事育児に専念したいなら仕事をやめればよい。
(男性 20歳代)
- ❖ 個々の考え方を尊重すべき。
(男性 30歳代)
- ❖ 金銭的に余裕があれば、子どもを産んだからには育児優先であってほしい。自分に余裕がなければ人は愛せない。仕事に追われるような仕事は育児中にはしない方がよいと思う。
(女性 40歳代)
- ❖ 本人が望むようにする。できれば子育てに最初のうちはある程度の期間専念し、その後は働きやすい環境のもとであれば働きたければ働き、子育てに更に専念したければするというようなことがよい。
(男性 50歳代)
- ❖ 仕事を続けるのは本人の考えであり、職場と上手にコミュニケーションが取れるのであれば問題ないのではないのでしょうか。
(男性 40歳代)

問10 女性が働きやすい環境づくりについて

- ❖ 内容を読むと内容は全部女性目線。男性が育児・介護で退職した時は、講座・セミナー等役所からのフォローもない。何が男女平等なのか。(男性 50歳代)
- ❖ 社会の経済信用度にも男女に差があると思うので、改善するべきだと思う。長い人生の中で働き方を変える事に不安を持たないで過ごせれば、育児・介護にもっと安心して参加できるのではないのでしょうか。(女性 40歳代)
- ❖ 半世紀前を勉強すべき。苦勞の面の問題と思う。(女性 70歳以上)
- ❖ 保護しすぎ。(男性 60歳代)

人権について

問11 あなたはこれまでにDVを受けたことがありますか

- ❖ 学生の時に言葉の暴力を受けたことがある。いじめを受けたことがある。(女性 20歳代)
- ❖ 1番初めに手、2番目は足、3番目は口が出ます。我が家では手足口病とっていました。今は年のせいか減少しました。(女性 60歳代)
- ❖ 相手がいませんでした。(女性 50歳代)
- ❖ 共働きであるにもかかわらず、自分の身の回りのことを含め、家のことを一切やらなかった。(女性 30歳代)
- ❖ 相手がいない。(男性 40歳代)
- ❖ 女性問題(女性 40歳代)

問12 性に対する暴力をなくすためには

- ❖ 保護施設職員等の権限強化。もっと踏み込みやすく対応しやすくしてほしい。(男性 40歳代)
- ❖ 前科犯の情報公開(男性 20歳代)
- ❖ どんなことをしてもなくならないと思う。力では女は男に勝てないのが現実(女性 20歳代)
- ❖ 性犯罪などの前科者は一生監視を付ける等して再犯などない様にする。大変だけど・・・(女性 50歳代)
- ❖ 受ける女性側にも問題がある可能性もあり、一方的な事だとは決して思えない。(男性 40歳代)
- ❖ (回答) 8を制限するともっと犯罪が増える。(ゲームで満足している人がいるため)(男性 20歳代)
- ❖ すべて人々の意識の問題だから、環境だけ整えても変わらない。(男性 40歳代)
- ❖ 余罪がある場合は量刑を重くするべきです。(男性 40歳代)

男女平等参画社会の推進について

問 1 3 男女平等参画の用語について

- ❖ わからない。 (女性 40歳代)
- ❖ まるで絵にかいた餅。男性の権利もいつの間にか弱まり、男女平等といえば個人にプラスはなし。行政がただ看板を上げるだけ、看板倒れにならぬよう。 (男性 50歳代)

問 1 5 男女平等参画社会実現のためには

- ❖ 上に記載されている事はアンケートに関わらず行うべきだと思う。 (男性 30歳代)
- ❖ 公的な監視体制の強化 (男性 20歳代)
- ❖ 2の講演会は企業・学校 (PTA)に細かく取り組んで欲しい、DVDの配布とか。 (女性 40歳代)
- ❖ 女性の自覚を高める研修機会の設定 (男性 60歳代)
- ❖ 手始めに市において女性の職場部門を開設し、男性との差 (つまり何が違うのか?)を明確にすべき。 (男性 40歳代)
- ❖ 男女平等参画の意味。メリット・デメリットがわからない人が多いと思うので理解させるのが先では? (男性 50歳代)
- ❖ 男は男らしく・女は女らしくが、差別にあたる今の社会は中性人間になっていくのでは? (男性 60歳代)

問 1 7 記念式典の内容について

- ❖ 式典?必要なし、ムダ使い。 (女性 50歳代)
- ❖ いらない。 (男性 60歳代)
- ❖ 必要なし。 (男性 20歳代)
- ❖ 必要ない。 (男性 60歳代)
- ❖ 税金のムダ! (男性 60歳代)
- ❖ 記念式典は必要なのでしょうか・・・? (女性 30歳代)
- ❖ わかりません。 (男性 40歳代)
- ❖ そんな事に税金を使うべきではない。式典をしなければ実施できない事ではないはず! (男性 30歳代)
- ❖ 取組みを行うために記念式典が必要なのでしょうか! (女性 30歳代)
- ❖ どれもくだらん、必要なし。「宣言」だけすればよし。あとは市民への周知だろう。 (男性 40歳代)
- ❖ 男女平等に関する市民の体験談や短編小説の朗読 (女性 60歳代)
- ❖ 各界各層から市民が注目し、意識づけのできる行事になるように。 (女性 40歳代)
- ❖ 男女平等参画を推進する他都市や海外で成果を挙げている国又は都市との交流 (女性 40歳代)
- ❖ 各家庭に見やすい読みやすい文章で配布も必要? (女性 70歳以上)
- ❖ せっかく式典をされても、関係者や特に注意をしているなどの人以外は、何が行われて何をしたのかわかりません。スーパーや学校・会社をまわってコツコツと広めないかぎり、意識

- は広まらないと思います。 (女性 40歳代)
- ❖ 男女平等参画都市宣言をすでに行っている都市の現状の講演 (女性 30歳代)
 - ❖ 選挙運動で使用する車でアピールする。 (男性 60歳代)
 - ❖ 現状では形だけの宣言になってしまう可能性が高いと思います。実情を把握した方がと思います。 (男性 40歳代)
 - ❖ 専門部署の設置、NPO 活動への支援 (男性 20歳代)
 - ❖ 取組みに関する DVD 作成や TV 放送、事例紹介の DVD 研修会の定期的開催 (男性 50歳代)
 - ❖ 市民が参加できるものが良い。 (女性 50歳代)
 - ❖ 広報にて毎回今回は～～の様な事とか、市民がいつも目に出来る様文章にて表す。 (女性 60歳代)
 - ❖ 身近なおつきあい！？ (女性 60歳代)
 - ❖ 専門の人が行うものよりも一般家庭や町内会の人をまきこみ、多くの人が参加するものを行うといいと思います。 (女性 20歳代)
 - ❖ PR バッジ・シールの配布 (男性 60歳代)
 - ❖ わからない。 (男性 50歳代)
 - ❖ 全国的なプレス (メディア等へのアピール) (男性 40歳代)
 - ❖ 記念式典にお金をかけるより全戸へ配布し、市民皆が目を通せる様、年2回以上は市民が手にとって再確認できると良いのではないのでしょうか？！ (男性 70歳以上)
 - ❖ 内容がわかりづらいので、実際行っている機関の紹介をしてもらいたい。 (女性 30歳代)
 - ❖ 男女平等は義務は体力・精神等違うので子育て等は女性の義務。女性は家庭に帰るべきと思います。子育ては地域・国が協力は良いが保障するものでないと思います。 (男性 60歳代)

2 男女平等参画についての意見・要望

- ❖ とても大変なことだと思います。今だに「女のくせに」とバカにする男性が多い世の中（「男のくせに」もありますね・・・）バランスよい社会作りは難しいと思います。男女平等といっても勘違いしている人も多いと思います（男女共に・・・）人が人を尊敬しあえる社会になってほしいです。お疲れ様です。 (女性 40歳代)
- ❖ 男女平等といいますが、まだまだ男は男、女は女なのではないでしょうか。男・女が独身で仕事上は平等がいいですけど、いざ、家庭を持ち育児が始まれば女性は育児に専念し、3才までは愛情をもって育ててほしいと思います。 (女性 50歳代)
- ❖ ①記念式典②宣言文宣誓③市民団体や学生による演奏・合唱等はお金がかかるので、お金をかけないで市民に知ってもらうには、広報が1番いいのではないかと思います。いくら都市宣言しても市民が「あそこでやっているな」では困ると思います。いつでも目に出来る事だと思います。 (女性 60歳代)
- ❖ 表向きの調査より中味・・・考えて!! むこう三軒両隣り、父母・兄弟・姉妹、お互いのおつきあい、そして協力・協調のない今の苦小牧、自分の利益だけ!! 人を利用する事ばかりと思う様になってきましたネ!! (女性 60歳代)
- ❖ 市が色々考え、男女平等参画を進めてもそれに答える市民は少ないと思います。事業所(者)にしても、小さな会社でしたら比較的取り入れやすいかと思います。私自身、大企業に勤めていましたが、給与形態が変われるまで数年・・・それも労働組合ができるから変える・・・といった感じです。それまでは、サービス残業あたりまえ、休日出勤(サービス)当たり前、お給与も子どもがいても結婚しても手当てがない状況でした。パワハラなんて普通のこと・・・。私は市・市民・事業者が一体となって施策を進めるのは無理だと感じます。なので、何か違う方法を考えて頂きたいです。 (女性 20歳代)
- ❖ 元気で仲良く住み易い社会を。 (男性 70歳代)
- ❖ 生活・社会的・経済的地位の改善の宣言を選挙のマニフェストに入れ、人が集まりやすいイオン、駅周辺で活動を行うべき。 (女性 20歳代)
- ❖ 社会への平等参画はできる(人的配置)が、家庭での役割分担では各々事情があろう。(幼子がいる。介護者がいる等) 男性女性が時間的にカバーしあえる中でこそ、参画が可能である。そうして後方支援の体制をどう構築できるかが重要ではないか? (男性 60歳代)
- ❖ ぜひ都市宣言をして下さい。 (女性 70歳以上)

- ❖ 男女平等参画都市宣言はどこへ向かってするのでしょうか？そして何のために。自分は苫小牧市にただ住んでいるだけの様な気がします。行事にも興味もないし、何をやっているのか知ろうともしない。そんな自分が市に対し興味をもてる様な何か、輝く何かがあるといいのに・・・。自分自身も何かをつかもうか？とも思いますが。 (女性 50歳代)
- ❖ 今までこの単語自体知らなかったので、今後も情報の発信をお願いします。 (男性 30歳代)
- ❖ 男性側、女性側の職場とも意識が低い。個人の思想よりもまず、企業側の思想を高めるべき。仕事場での余裕のなさが家庭その他に影響を与えているのでは。 (男性 40歳代)
- ❖ 当方において、男女平等参画は当然あるべき事かと思えます。しかしながら、男には出来、女には出来ない・・・逆もまたしかりで、長所と短所を理解して、この平等参画を進める方が良いと思えます。賃金的にも未だに女性が軽視されておる現状もあり、パート・アルバイト等、社員、契約社員等も含めて平等になる事が望ましいのかな？と思えます。乱筆乱文を失礼します。 (男性 40歳代)
- ❖ 男女平等参画、名前だけが先走りしてはいないか？記念講演など金かける必要はないと思う。求人情報なども男女平等だからかと一緒。わずらわしい男女平等参画で役所の女性職員も待遇もよくなり、対応が男性職員に見習って態度が横柄。これが男女平等参画ならいらない。金の無駄 (男性 50歳代)
- ❖ 事業所で女性の採用の多い先、管理職登用の多い先等を公報等で紹介してほしい。 (男性 50歳代)
- ❖ 市民が安心して子どもを産み育てることが出来る環境整備及び経済社会の裏付けが、人口増加の道につながり延いては街の活性化や発展の源となると思います。各町内会に赤ちゃんの泣き声や子どもの遊ぶ声の絶えない苫小牧市をぜひ！ (男性 60歳代)
- ❖ いろいろな活動に対し、一部の市民だけが知っている事が多い。また、一般市民が参加しづらい環境になっている。役所的な考えでは誰も参加又は推進出来ないのでは？ (男性 40歳代)
- ❖ こんなアンケートを行うことは経費のムダ使いだと思う。記念式典(問17)を行うことでどれだけ意識が改善されるものなのか。疑問!! これまた税金のムダ使い。苫小牧市の財政状況を考慮した上で、いろんな取組みも考えた方がいいのではないですか。役所目線で簡単に短絡的に物事を考えたり行動せず、もっと堅實的に本当に必要なところに税金を使ってください。形式だけの行事は勘弁!! (女性 50歳代)

- ❖ 「男女平等参画」について知りませんでした。広報等の周知の徹底などしているのでしょうか。私は身体障害者です。男女平等よりも身体障害者への住み良い環境を考えていただきたい。
(女性 30歳代)
- ❖ 女性の雇用や採用を増やしすぎるのも”女性優遇”となり良くない。能力で選ばれその結果、管理職に女性が少ないとなっても仕方がないと思う。産休を多くとると人員が減って代わり人の配置がなく、心苦しく思う人が多いので人事異動の配慮がほしい。
(女性 20歳代)
- ❖ 申し訳ございません。私も80才に成ったので男女平等参画が有る事は知って居ましたが、私も若い時から日本舞踊のみに打ち込んで居て、アンケートにお答え出来ませんので宜しくお願いいたします。申し訳ございません。
(女性 70歳以上)
- ❖ 男女平等参画社会を目指しての活動は、それ自体は望ましいことであり、その成果を期待するものである。一部過激な活動家と言ってもよいと思うが、家族別姓(家族の絆を壊す)性の自由(若くして望まない妊娠)体力差を無視した職業選択等そのような危険な思想がある。この活動は諸刃の剣とならないよう慎重な行動を望みます。
(男性 70歳以上)
- ❖ 明治時代、昭和の始め頃なら男女平等でなかったかもしれませんが、今現在では相当なことでない限り、男女平等の社会になっている様に思います。政治・行政、その他色々なことに平等になってきている様に思います。
(女性 70歳以上)
- ❖ 法のもと、平等はあるが、仕事をする上での時間的拘束に、女性は耐える事が出来る状況がある(結婚による退職、出産時のお休み、そこから復帰するかどうか)。ここは差別ではなくて、区別として扱われるべき所である。働きたい女性がそのハンデを乗り越えられる環境作りが行政の責任だと思います。
(男性 30歳代)
- ❖ 病児をかかえて働く女性のため病児保育が欲しいです。
(女性 40歳代)
- ❖ 何をするのか?したいのか?よくわかりません。もう少し誰にでもわかりやすいようにしたらいいと思います。(もっと具体的に)
(女性 30歳代)
- ❖ 80才代なので詳しいことがわからず申し訳ございません。
(女性 70歳以上)
- ❖ 男女平等参画の意味がわからないから書くことが出来ない。
(女性 20歳代)
- ❖ 男女平等について考えるには、まず男はこうである、女はこうであるという固定観念を捨てることから始まると思う。
(女性 50歳代)

- ❖ 男性も女性も性差による違いは認め、お互いを尊敬しあえる関係を築き、共に向上できることが理想です。子どもに男女平等の考えを持たせるには、小さい時から家庭生活でのいろいろなことを話して聞かせ続けることが大切と考えます。 (女性 60歳代)

- ❖ この度は「男女平等参画」について考える機会を与えていただき、誠にありがとうございました。私は未婚女性・子どもなしですが、既婚の(子どもさんのいる女性)同僚の立場も踏まえながらアンケートに答えさせていただきました。家庭(家事・育児)に積極的に参加する男性が増え、職場では女性の昇進・管理職登用が増え、以前に比べ、男女平等の思想が広まりつつあるように思います。しかし「男女平等参画都市宣言」をしなくてはならない、ということはまだまだ男女が不平等な社会なので、今後の変化が楽しみです。女性の立場から「仕事」と「家事」を両立させるために、どんな展開を期待するか?と考える時、民間企業・公共機関・家庭がタッグを組んで、女性が社会に入りやすく(家庭を出やすく)、男性が家庭に入りやすい(社会から出やすい、離れやすい)社会になっていることを願います。保育施設・サービスの充実や各法律や制度の修正・確立をはじめ、進めるべき内容は多岐に渡ると思いますが、市民のために頑張ってください。今後の展開を期待し、応援しております!! (女性 30歳代)

- ❖ 絵にかいた餅になりませんように。 (女性 40歳代)

- ❖ 日常生活と市政との距離感が縮まるような市政を望んでいます。 (女性 40歳代)

- ❖ 女の人が、子どもを育てながら働く場を作ってやり、子どもを産んで休暇を取るのも当然だという社会を作らないと、何かやっても空回りになる。子どもを社会全体で育てるという考えからも、子どもを育てる「子ども手当」なども思い切ったたくさん支出(公的に)するべし。今のままでは日本人が少数民族になり、全世界の中での発言力もなくなってしまう。金のある人は、税金だけでなく、育児拠金をたくさん出して、低収入者の子どもを本気で育ててやる気を出すこと。 (男性 70歳代)

- ❖ 子どもが病気して急に仕事を休むことへの理解は単身者で低いと思う。「それを考えると働きに出られない」と思う母親もいる。そう考えてしまう職場や社会の対応を充実させてもらえるとありがたい。「働きたいけど働けない」というのは単に保育園が足りない、働くところが無い、それだけではないことを知って欲しい。 (女性 30歳代)

- ❖ 勉強不足なのではしょうか…。無関心という訳ではありませんが、初めて耳にする言葉(男女平等参画社会)であり、当然ながら内容につきましても、よく把握していない状況です。推進は重要課題ではありますが、告知や認知についても今以上に広まる様、更なる活動もあわせて重要かと思われまます。 (男性 50歳代)

- ❖ 私の場合、夫が転勤の多い仕事のため1，2年で引越しをしています。二人とも近くに親兄弟、親戚がいないので、誰にも協力してもらえません。夫は夜遅く、1人で面倒を見ています。自分も子どもも病気の時には夫の協力が無いということがよくあり、体調が悪くても病院にいけず、子どもの面倒をみるのが本当につらいです。(インフルエンザの時など特に)近くに協力してくれる人が欲しいです。病気の子ども、病気の母親をサポートする人、施設が欲しいです。(女性 30歳代)

- ❖ 子どもの時から女に産まれた意味を教育してほしい。女子こそ立派であれば、国も成長し家庭も円満に、男に生きがいある働きをしてもらい、女・子どもが身の丈の幸せを喜んで。離婚のない家庭と不足な子どもを産まない教育が必要と思います。「障害のある・・・」(女性 70歳代以上)

- ❖ くだらない事するな、税金のムダです。(男性 60歳代)

- ❖ 女性の意見を多く聞いたり、女性と男性と一緒に参加できる場を出来るだけ設けるといいと思う。(男性 30歳代)

- ❖ 会社及び職場の協力、理解が是非とも必要(女性 70歳以上)

- ❖ 子どもを大事にする。気風づくりをしてほしい。(男性 60歳代)

- ❖ 日本人である以上、古来からの風習で、もともと男女の差別の方が歴史的に長く、スポーツでも同種の競技でも男女別がある。生理的・精神的にも差があり、男女が平等と唱えるのであれば、全て平等にする事は無理なように、ある部分のみ平等にするのは都合が良いのではと思う。他の動物社会でも雌雄の分担があるように、人間も同じく考えてはと思う。男は男らしく、女は女らしくが正にその通りと思います。※差はあってあたり前と思う。(男性 60歳代)

- ❖ 苫小牧市が、「男女平等参画社会実現」に向けて取り組んでいる事は知りませんでしたが、今後、私も関心を持って暮らしやすい社会になるように協力したいと思いました。(女性 40歳代)

- ❖ 申し訳ない意見ですが、多くの家庭では毎日の暮らしに精一杯の状態、男女関係なく不満・不安を抱えながら生きていると思います。男女平等参画の趣旨は大変素晴らしいと思いますが、その実現のためには、その前に解決しなければならない問題が山積みの様に思います。余裕がなく、社会参画等を考えるには難しい時代です(と思います)。家庭により状況も異なり、年代性別等関係なく、家族間のコミュニケーションをはかりながら、我が家は趣旨に賛同していきたいと思います。女性も大変ですが男性も大変です。質問の視点が女性に偏っている感じがし、男女平等参画ということに不自然さが感じられました。(男性 40歳代)

- ❖ このアンケートは無作為に 1500 人と書いてあったが、男女の割合は？男女で感じ方が違うので750人半々でアンケートしたのか不安・・・。男女平等と云っても限度があると思う。簡単に男女平等とはならない。 (男性 30歳代)
- ❖ 男女平等参画都市宣言が実現化し、実生活は本当に変化するとは思えない。家庭の中で女性が動くのがあたりまえ、と育てられた男性達が世の中の企業のトップだったり、政治を動かしてるので、その年代の人達を変えれるなら実現するかと思います。20代・30代男性は育児に積極的に携わってる姿をよく見ますが、40代・50代家庭は、女性に任せてる人が多いと思います。幼いうちから男の子・女の子関係なく、家のことも教えていくことが大事だと思います。 (女性 30歳代)
- ❖ ①なるべく多くの市民(幅広い年齢層で)に参加してもらうことを主眼とする。②なるべく市民参加型・・・行政のみの参加では意味がない。③いわゆる箱物やそれに伴うシステムを入れても、それらに関わる職員が問題へ一歩踏み込んでいけない様な権限ではもったいない。問題が大きく起きてからではないと踏み込めないから、今日の新聞をにぎわす事件が多発するのではないのでしょうか。ご苦労様でした。 (男性 40歳代)
- ❖ 記念式典よりも、若い人にも知ってもらえるよう働きかけをすべき！ (女性 30歳代)
- ❖ なぜ今、男女平等参画宣言なのか。逆に公務員による、公務員の為のといえるようなことは無用と考える。市民として無駄な事をしないでその力を東北へ目を向けなさい。(市役所で女性 up の見本を見せなさい) (男性 60歳代)
- ❖ 宣言は良いが!! 企画倒れ!! にならない事 (女性 60歳代)
- ❖ 時代が変わったと云えばそれまでですが、子どもは親が育てるものと家庭は家族でいるもの。そして社会が加わって保てたと思います。今は何かと云うと他に頼る事ばかり、行政・国政・社会に保護を求めるのが当たり前、援助もすべて人に頼る情けない状況ではないのでしょうか。本当に困る方には当然助けてあげる事は否定はしません。古い時代でも為になる事取り上げて良いことも沢山あると思います。少し考え方を思い返すのも一つの方法かもしれないと深々考えて居ります。 (女性 70歳以上)
- ❖ 17問の設問に、本当に男女平等社会を作ろうとする意欲が全く見られない。都市宣言をしたり、宣言文宣誓が役立つと本当に考えているのだろうか？担当者の常識を疑う。 (男性 60歳代)
- ❖ 問15のアンケートの様な内容を充実してくれば良いと思います。 (男性 60歳代)
- ❖ 保育所の増加。つながりのある企業へも指導をできる強い市の体制 (男性 20歳代)

- ❖ 男性・女性の自覚が欲しいと思います。男性・女性が平等を叫ぶ前に、人様にどれだけの心ある愛情が注げるかです、と思います。私は仕事その他に力を入れすぎると、子どもの数が少なくなる（女性）と思います。 (女性 60歳代)

- ❖ アンケートを行うにあたり、男女平等参画がどういうものなのかの説明文をつけてほしかった。(苫小牧市がやりたい内容を)「実現すればこんな社会に！」の説明文はあるのに、具体的に今、現在どういう取組みが行われているのか全くわからない。いつ実行したいものなんでしょうか?? (女性 30歳代)

- ❖ 色々な年代の人の意見を聞いて今の時代にあった方法が良いと思います。古いからダメとかではなく、良いものは良いと考えます。 (女性 30歳代)

- ❖ 今の子どもたちは普通の常識をあまり知りません。小さいときから、良い悪いのことは子どもの目線で教えればきっと身に付くと思います。遊びの世界から学んで欲しいです。 (女性 年齢無回答)

- ❖ 年配の方たちに特に訴えていく必要があると思います。 (女性 40歳代)

- ❖ 暴力を受けたと相談した後、男女間や家庭にどれだけ介入出来るか、という難しさはあると思うのですが、相談した後役所他がすぐ動かず死亡したり取り返しの付かない事になっていることをTV等で見ると残念です。相談するところをたくさん作っても内容の充実をして欲しいです。 (女性 60歳代)

- ❖ この社会は理想的な社会生活なんだと感じました。ただ、未来の生活がこうなっているとイマイチ想像できなかつた。今、育児を通して、男性の参加率の低さを感じたりします。どうしても仕事中心で、子どもとのふれあう時間が短い方が多いです。残業しないと生活に支障する方もいます。もう少し生活のお金にゆとりがあり、かつ時間にも余裕があれば、男性育児の参加率が高まるとも感じています。子どもの成長は意外に早いので、その短い時間を楽しめる社会作りとなればいいなと感じます。苫小牧自体が活性化してお金が稼げれば、色々変化するのではないのでしょうか。 (女性 30歳代)

- ❖ 男女平等参画を進めるのは良いことだが、行き過ぎた女性優遇や男性冷遇にならないようにして欲しい。他国と日本の文化・環境・人々の考え方の違いを考えず、有利なデータだけを用いて世界と比べて、女性の地位が低い・低すぎるといったような事を声高に主張する方々に惑わされないように、男性から見ても女性から見ても平等だと思えるような法令にしたい。 (男性 20歳代)

- ❖ 男女平等参画という言葉がよくのみこめない。ピンとこない。わかりやすい言葉で知らせて欲しい。 (女性 50歳代)

- ❖ 能力がある男女については良いことと思いますが、皆が皆、権利のみを主張して社会が混乱する一方ではないでしょうか。男性にしか、女性にしか出来ない良さもあるのに、何でも平等を優先するのは考え物です。 (男性 60歳代)

- ❖ (問7回答7について) 何故自分の親などに聞かないのだ?時代が違うなどというのならは今現在育児している人間以外はすべてズレが生じてしまい参考意見程度にしかならないのでは?まして学識経験者などや評論家なんぞに何がわかる何ができるというのだ。 (男性 40歳代)

- ❖ 女性もそうですが男性も育児に関わろうと思ってはいるが、まだ職場等休暇や早退等言いづらい部分があるし、難しいところではあるが、まずそういう所から少しずつ解消していけばよくなると思います。 (男性 20歳代)

- ❖ 苫小牧市がやる必然性があるのでしょうか?ただでさえ、苫小牧市は税金が高く、離婚率も高く、母子家庭に甘い都市として評判です。子育て支援金や、母子家庭手当目当ての偽装離婚の噂も昭和の時代から消えることはありません。市役所内で働いている人達も職員の妻をアルバイトで優先的に雇っているという話だし、そんな所が「平等に」とか言っても意味がないと思う。男女間であろうと同性間であろうと、真の意味での「平等」な社会とは残念ながらありえないことだと思います。理想を持つのはけっこうなことだが、税金で講演だの寸劇だのを行うなどもってのほか。やめて下さい。そもそも「男女平等」とは何なのでしょう?「同権」なら少しは意義もあるかと思いますが。元々女の方が上なのに何故下までおりてやらなければならないのですか? (女性 40歳代)

- ❖ 愛情不足で育った子は難しいです。親の気を引きたくてまっすぐに育たない例が多いような気がします。専業主婦の子どもが必ずしもまっすぐ育つとはかぎらないし、共働き・片親・親がいない子だって素直に育つ子もいますが、親になったからには自分を犠牲にする必要はありませんが、いつも子どものことを考え子供を優先に育児できる職場環境が整っていれば女性も仕事をしやすくなり、仕事ができれば金銭的に余裕もでき、少子化対策にもつながるのではないのでしょうか。 (女性 40歳代)

- ❖ 生活保護などの不正受給を減らして下さい。ボーナス的考えの人がいると聞きました。 (女性 40歳代)

- ❖ 男女平等と言うことではとっても良いことだと思います。でも最近の女性特に40才前位の女性達は全員ではありませんが、自分の主張を優先し困惑することが多々あり、ご主人達が我慢している方も沢山おられると思います。私の見る目では女性は弱い物としていますが、その言葉の隠れ蓑にして好き勝手なことをしている女性も多くなったということも忘れてはならないと思います。 (女性 60歳代)

- ❖ お題目にならず実際的な取組みとなるよう期待致します。 (女性 40歳代)

- ❖ 子どもを大切にしない国に未来はありません。子どもを育て守るためには、親をサポートする必要があります。核家族が進んだ現代では、公的な援助が重要です。今の子育て世代、特に女性がどのような援助を求めているのか調査し、必要な援助が必要な人に届くように制度を整え、人材を確保する必要があります。また、企業を取り巻く情勢が厳しい今日、出産・育児が就業に不利益と捉えられることが多いように思われます。目先の利益だけにこだわらず、広く大きな視点で国の将来を考える企業が増えるよう、何がしかの働きかけが必要だと思います。 (女性 40歳代)

- ❖ 日常生活に於いて町内会等わだかまりが大きすぎるので・・・？ (女性 70歳以上)

IV 集計表

問1 あなたは、現在、次にあげるような分野や社会全体をみて、男女の地位などに差があると思いますか。

(%)

(1)家庭生活	回答総数	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	差はない(平等である)	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答
全体	374	12.3	37.2	32.1	7.5	2.1	4.8	4.0
性別								
男性	172	4.1	39.0	43.0	5.2	2.9	2.3	3.5
女性	202	19.3	35.6	22.8	9.4	1.5	6.9	4.5
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-
年代別								
20歳代	21	4.8	9.5	52.4	9.5	9.5	14.3	0.0
30歳代	57	14.0	24.6	38.6	12.3	3.5	7.0	0.0
40歳代	56	8.9	46.4	25.0	12.5	3.6	1.8	1.8
50歳代	70	17.1	32.9	30.0	8.6	0.0	7.1	4.3
60歳代	93	9.7	49.5	28.0	2.2	1.1	2.2	7.5
70歳以上	76	14.5	35.5	34.2	5.3	1.3	3.9	5.3
無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(2)仕事の場	回答総数	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	差はない(平等である)	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答
全体	374	25.7	43.3	16.6	3.2	1.6	6.1	3.5
性別								
男性	172	18.6	46.5	19.8	4.7	2.3	4.7	3.5
女性	202	31.7	40.6	13.9	2.0	1.0	7.4	3.5
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-
年代別								
20歳代	21	33.3	28.6	23.8	9.5	0.0	4.8	0.0
30歳代	57	35.1	43.9	17.5	0.0	1.8	1.8	0.0
40歳代	56	25.0	48.2	10.7	7.1	5.4	3.6	0.0
50歳代	70	17.1	40.0	28.6	4.3	0.0	10.0	0.0
60歳代	93	29.0	48.4	9.7	1.1	0.0	6.5	5.4
70歳以上	76	19.7	40.8	15.8	2.6	2.6	7.9	10.5
無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(3)学校教育の場	回答総数	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	差はない(平等である)	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答
全体	374	3.2	11.0	61.5	1.3	0.3	17.6	5.1
性別								
男性	172	0.6	8.1	70.3	2.3	0.0	13.4	5.2
女性	202	5.4	13.4	54.0	0.5	0.5	21.3	5.0
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-
年代別								
20歳代	21	0.0	9.5	66.7	4.8	0.0	19.0	0.0
30歳代	57	0.0	17.5	66.7	0.0	0.0	14.0	1.8
40歳代	56	3.6	5.4	76.8	1.8	1.8	8.9	1.8
50歳代	70	1.4	12.9	57.1	2.9	0.0	25.7	0.0
60歳代	93	6.5	10.8	54.8	1.1	0.0	19.4	7.5
70歳以上	76	2.6	9.2	57.9	0.0	0.0	17.1	13.2
無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問1 あなたは、現在、次にあげるような分野や社会全体をみて、男女の地位などに差があると思いますか。

(%)

(4)地域活動の場	回答総数	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	差はない(平等である)	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答
全体	374	2.9	23.5	50.8	8.0	1.1	9.4	4.3
性別								
男性	172	0.6	22.7	55.8	9.3	1.7	5.8	4.1
女性	202	5.0	24.3	46.5	6.9	0.5	12.4	4.5
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-
年代別								
20歳代	21	0.0	0.0	61.9	4.8	4.8	28.6	0.0
30歳代	57	0.0	14.0	54.4	14.0	0.0	15.8	1.8
40歳代	56	3.6	23.2	57.1	7.1	1.8	5.4	1.8
50歳代	70	1.4	30.0	47.1	5.7	0.0	14.3	1.4
60歳代	93	2.2	30.1	45.2	8.6	2.2	6.5	5.4
70歳以上	76	7.9	22.4	51.3	6.6	0.0	1.3	10.5
無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(5)政治や行政の場	回答総数	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	差はない(平等である)	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答
全体	374	25.1	41.4	19.8	0.5	0.8	8.6	3.7
性別								
男性	172	14.5	43.6	29.1	1.2	1.7	6.4	3.5
女性	202	34.2	39.6	11.9	0.0	0.0	10.4	4.0
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-
年代別								
20歳代	21	19.0	47.6	14.3	0.0	0.0	19.0	0.0
30歳代	57	31.6	43.9	8.8	1.8	1.8	12.3	0.0
40歳代	56	21.4	46.4	21.4	1.8	0.0	7.1	1.8
50歳代	70	30.0	38.6	18.6	0.0	1.4	11.4	0.0
60歳代	93	23.7	43.0	21.5	0.0	0.0	6.5	5.4
70歳以上	76	22.4	34.2	27.6	0.0	1.3	3.9	10.5
無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(6)法律や制度の上で	回答総数	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	差はない(平等である)	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答
全体	374	10.2	28.9	36.6	4.0	3.2	12.6	4.5
性別								
男性	172	5.2	26.2	48.3	5.8	2.9	7.6	4.1
女性	202	14.4	31.2	26.7	2.5	3.5	16.8	5.0
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-
年代別								
20歳代	21	14.3	14.3	47.6	4.8	4.8	14.3	0.0
30歳代	57	7.0	35.1	36.8	3.5	5.3	12.3	0.0
40歳代	56	8.9	33.9	39.3	3.6	5.4	7.1	1.8
50歳代	70	10.0	27.1	35.7	8.6	1.4	14.3	2.9
60歳代	93	11.8	32.3	28.0	4.3	1.1	16.1	6.5
70歳以上	76	10.5	22.4	42.1	0.0	3.9	10.5	10.5
無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問1 あなたは、現在、次にあげるような分野や社会全体をみて、男女の地位などに差があると思いますか。

(%)

(7)社会通念・慣習など	回答総数	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	差はない(平等である)	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答
全体	374	18.4	48.4	17.4	2.1	1.6	8.6	3.5
性別								
男性	172	8.7	51.7	27.9	2.9	2.3	2.9	3.5
女性	202	26.7	45.5	8.4	1.5	1.0	13.4	3.5
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-
年代別								
20歳代	21	19.0	23.8	38.1	4.8	4.8	9.5	0.0
30歳代	57	12.3	50.9	21.1	3.5	1.8	10.5	0.0
40歳代	56	26.8	42.9	16.1	1.8	1.8	8.9	1.8
50歳代	70	22.9	50.0	12.9	0.0	0.0	14.3	0.0
60歳代	93	20.4	50.5	14.0	3.2	1.1	5.4	5.4
70歳以上	76	9.2	53.9	18.4	1.3	2.6	5.3	9.2
無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(8)社会全体	回答総数	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	差はない(平等である)	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答
全体	374	15.5	53.5	16.0	3.5	1.6	6.7	3.2
性別								
男性	172	7.6	55.8	22.7	4.1	2.3	3.5	4.1
女性	202	22.3	51.5	10.4	3.0	1.0	9.4	2.5
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-
年代別								
20歳代	21	28.6	19.0	28.6	14.3	0.0	9.5	0.0
30歳代	57	12.3	57.9	10.5	3.5	3.5	12.3	0.0
40歳代	56	14.3	53.6	14.3	5.4	1.8	8.9	1.8
50歳代	70	18.6	61.4	11.4	1.4	0.0	7.1	0.0
60歳代	93	16.1	59.1	14.0	2.2	0.0	4.3	4.3
70歳以上	76	11.8	46.1	23.7	2.6	3.9	2.6	9.2
無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方をどう思われますか

(%)

	回答総数	そう思う	どちらかといえば	どちらかわからない	そうは思わない	わからない	無回答
全体	374	7.0	38.8	18.2	34.0	1.3	0.8
性別							
男性	172	8.1	43.6	15.7	31.4	0.6	0.6
女性	202	5.9	34.7	20.3	36.1	2.0	1.0
無回答	0	-	-	-	-	-	-
年代別							
20歳代	21	4.8	38.1	4.8	47.6	4.8	0.0
30歳代	57	0.0	38.6	15.8	43.9	0.0	1.8
40歳代	56	5.4	39.3	16.1	35.7	1.8	1.8
50歳代	70	1.4	34.3	24.3	38.6	1.4	0.0
60歳代	93	10.8	34.4	24.7	29.0	1.1	0.0
70歳以上	76	14.5	48.7	11.8	22.4	1.3	1.3
無回答	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問3 家庭での男女の役割分担について、あなたの家庭ではどうなっていますか

(%)

	回答総数	担当している、男は仕事、女は家事・育児を分	担当している、男は家事・育児を分	は男女ともが分擔をして、家事・育児	は男女ともが分擔をして、家事・育児	も男女とも分擔をして、家事・育児	は男女とも仕事の協力をし、家事・育児	役割分担はしていない	単身者なのでわからない	その他	無回答
全体	374	25.1	1.3	22.7	0.3	12.6	0.5	16.8	14.4	5.1	1.1
性別											
男性	172	26.7	1.7	14.5	0.6	16.9	0.6	18.0	14.0	6.4	0.6
女性	202	23.8	1.0	29.7	0.0	8.9	0.5	15.8	14.9	4.0	1.5
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別											
20歳代	21	14.3	0.0	23.8	0.0	4.8	0.0	14.3	38.1	4.8	0.0
30歳代	57	28.1	1.8	21.1	0.0	19.3	0.0	3.5	17.5	7.0	1.8
40歳代	56	17.9	0.0	41.1	0.0	14.3	0.0	8.9	17.9	0.0	0.0
50歳代	70	22.9	1.4	32.9	0.0	18.6	2.9	7.1	12.9	1.4	0.0
60歳代	93	32.3	2.2	12.9	0.0	10.8	0.0	23.7	11.8	5.4	1.1
70歳以上	76	25.0	1.3	13.2	1.3	5.3	0.0	34.2	7.9	9.2	2.6
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

問4 家庭での男女の役割分担について、あなたは本来どうあるべきだと思いますか

(%)

	回答総数	男は仕事、女は家事・育児を分担する	女は仕事、男は家事・育児を分担する	男女とも仕事をし、家事・育児は主に女が分担する	男女とも仕事をし、家事・育児は主に男が分担する	男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担する	男女とも仕事をし、家事・育児は第三者に任せる	役割分担する必要はない	その他	わからない	無回答
全体	374	14.4	0.3	4.8	0.5	46.5	0.8	23.0	3.7	4.3	1.6
性別											
男性	172	20.9	0.6	8.1	0.6	37.8	1.7	20.3	3.5	4.7	1.7
女性	202	8.9	0.0	2.0	0.5	54.0	0.0	25.2	4.0	4.0	1.5
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別											
20歳代	21	9.5	0.0	4.8	0.0	42.9	0.0	23.8	14.3	4.8	0.0
30歳代	57	7.0	0.0	7.0	0.0	50.9	0.0	26.3	3.5	3.5	1.8
40歳代	56	12.5	0.0	5.4	0.0	51.8	1.8	19.6	5.4	3.6	0.0
50歳代	70	8.6	0.0	1.4	0.0	54.3	0.0	20.0	5.7	8.6	1.4
60歳代	93	16.1	1.1	3.2	2.2	44.1	0.0	28.0	0.0	4.3	1.1
70歳以上	76	26.3	0.0	7.9	0.0	35.5	2.6	19.7	2.6	1.3	3.9
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問5 今後、男性が女性とともに、家事・子育て・介護・地域活動に積極的に参加していくためには、どの様な事が必要だと思いますか

(%)

	回答総数	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる	労働時間短縮や休暇制度を普及すること、仕事以外の時間をより多く持つようにする	男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行う	国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高める	男性が子育てや介護、地域活動を行うためのネットワークを作る	男性が相談しやすい窓口を設ける	家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について	事業所の協力のもと、男性、女性の仕事と家庭の両立を支援する体制を整備する	その他	特に必要なことはない	無回答
全体	374	68.2	42.0	26.7	17.1	14.2	13.6	51.1	2.1	4.5	2.1	
性別												
男性	172	63.4	43.6	25.0	15.1	14.0	12.8	40.7	0.6	7.0	3.5	
女性	202	72.3	40.6	28.2	18.8	14.4	14.4	59.9	3.5	2.5	1.0	
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
年代別												
20歳代	21	76.2	52.4	33.3	14.3	19.0	4.8	57.1	4.8	4.8	0.0	
30歳代	57	70.2	64.9	26.3	10.5	15.8	14.0	50.9	3.5	1.8	0.0	
40歳代	56	64.3	44.6	25.0	16.1	17.9	14.3	51.8	5.4	1.8	3.6	
50歳代	70	65.7	37.1	27.1	15.7	17.1	14.3	60.0	1.4	2.9	2.9	
60歳代	93	73.1	36.6	33.3	18.3	11.8	10.8	51.6	0.0	7.5	1.1	
70歳以上	76	63.2	31.6	18.4	23.7	9.2	17.1	39.5	1.3	6.6	3.9	
無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	

問6 現在、一人の女性が一生のうちに産む子どもの数は、年々減りつづけています。このように出生率が低下したのはなぜだと思えますか

(%)

	回答総数	子育てに経費がかかる	子育てと仕事を両立できる社会的な仕組み（雇用条件・保育環境等）が整っていない	女性の高学歴化や社会進出により結婚年齢が上昇した	子どもは少なく産み、十分手をかけて育てたいという人が増えた	子どもはより、仕事や余暇を充実したいと考える人が増えた	働きながら子どもを育てられないため、職場に育児休業の理解がないため、	結婚しない人が増えた	出産・子育てに対する男性（夫）の理解・協力が足りず、女性（妻）の精神的・肉体的負担が大きい	祖父母や隣近所など両親以外に子育てを支援してくれる人がいない	子どもをほしくない人が増えた	その他	わからない	無回答
全体	374	45.2	59.1	24.3	10.4	23.0	27.3	34.8	17.4	13.9	10.7	3.5	2.1	1.3
性別														
男性	172	45.3	53.5	26.2	9.9	23.3	26.2	35.5	11.0	16.9	13.4	3.5	3.5	1.7
女性	202	45.0	63.9	22.8	10.9	22.8	28.2	34.2	22.8	11.4	8.4	3.5	1.0	1.0
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別														
20歳代	21	81.0	52.4	33.3	4.8	42.9	33.3	23.8	23.8	9.5	14.3	4.8	0.0	0.0
30歳代	57	64.9	61.4	31.6	5.3	12.3	36.8	28.1	19.3	10.5	5.3	5.3	0.0	0.0
40歳代	56	55.4	64.3	23.2	8.9	16.1	23.2	26.8	17.9	12.5	14.3	8.9	3.6	1.8
50歳代	70	44.3	58.6	22.9	5.7	28.6	25.7	28.6	18.6	11.4	10.0	2.9	2.9	2.9
60歳代	93	33.3	65.6	24.7	14.0	28.0	31.2	43.0	14.0	10.8	10.8	1.1	2.2	1.1
70歳以上	76	28.9	47.4	18.4	17.1	18.4	18.4	43.4	17.1	23.7	11.8	1.3	2.6	1.3
無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問7 あなたは、子どもを産みやすい、育てやすい環境づくりのためには、どの様な事が必要だと思いますか

(%)

	回答総数	育児休業中も給与が支払われることを保障する制度の創設	家事や育児に男女ともに参加するような世の中の全体の意識改革	親の働く時間に対応できる保育時間の延長や、産休明けに利用できる0歳児保育の充実	子どもを一時的に保育してくれる施設・制度の整備・充実	子どもが急な病気の時に、仕事を休まなくても良い保育施設の充実	子どもの出産・育児に対する手当てなどの充実	育児について相談できる機関や人的ネットワークの整備・充実	その他	わからない	無回答
全体	374	44.7	38.5	51.3	10.2	46.0	29.4	20.1	4.0	4.5	2.4
性別											
男性	172	47.1	36.6	47.1	11.6	39.0	35.5	20.9	4.1	5.2	3.5
女性	202	42.6	40.1	55.0	8.9	52.0	24.3	19.3	4.0	4.0	1.5
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別											
20歳代	21	52.4	33.3	38.1	0.0	23.8	52.4	23.8	14.3	9.5	0.0
30歳代	57	50.9	54.4	40.4	10.5	45.6	54.4	10.5	5.3	0.0	0.0
40歳代	56	46.4	41.1	46.4	16.1	51.8	28.6	12.5	7.1	5.4	0.0
50歳代	70	37.1	40.0	58.6	7.1	54.3	15.7	21.4	0.0	4.3	2.9
60歳代	93	46.2	40.9	57.0	14.0	40.9	30.1	23.7	3.2	5.4	1.1
70歳以上	76	42.1	22.4	52.6	6.6	46.1	17.1	25.0	2.6	5.3	7.9
無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問8 働いている方にお聞きします。
あなたの今の職場では、女性は男性に比べ差別されていると思いますか

(%)

	回答総数	思う差別されていると	ないと思う	わからない
全体	223	21.1	65.0	13.9
性別				
男性	115	16.5	67.0	16.5
女性	108	25.9	63.0	11.1
無回答	0	-	-	-
年代別				
20歳代	18	11.1	66.7	22.2
30歳代	45	31.1	55.6	13.3
40歳代	47	21.3	74.5	4.3
50歳代	55	12.7	76.4	10.9
60歳代	40	27.5	55.0	17.5
70歳以上	17	17.6	52.9	29.4
無回答	1	0.0	0.0	100.0

問8-1 問8で「差別されていると思う」と答えた方にお聞きします。
それは具体的にどのようなことですか

(%)

	回答総数	賃金に格差がある	昇進、昇格や管理職登用に差がある	能力を正當に評価しない	補助的な仕事しかやらせてもらえない	結婚や出産した時にそのまゝ仕事を続けにくい雰囲気がある	女性は定年まで仕事を続けにくい雰囲気がある	教育・訓練を受ける機会が少ない	その他	無回答
全体	47	57.4	51.1	31.9	23.4	34.0	23.4	19.1	8.5	0.0
性別										
男性	19	42.1	42.1	31.6	26.3	31.6	26.3	21.1	10.5	0.0
女性	28	67.9	57.1	32.1	21.4	35.7	21.4	17.9	7.1	0.0
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別										
20歳代	2	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	14	50.0	50.0	14.3	28.6	50.0	28.6	14.3	14.3	0.0
40歳代	10	60.0	100.0	60.0	10.0	0.0	20.0	20.0	10.0	0.0
50歳代	7	71.4	42.9	28.6	57.1	57.1	14.3	42.9	0.0	0.0
60歳代	11	72.7	18.2	36.4	9.1	18.2	27.3	18.2	9.1	0.0
70歳以上	3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問9 あなたは、女性の仕事と家庭の関わりについて、どのように考えますか

(%)

	回答総数	結婚や出産にこだわらず、仕事を続けるべきだと思う	結婚や出産後は再び仕事に就くべきだと思わない	結婚を機に仕事をやめ、家事に専念すべきだと思う	出産を機に仕事をやめ、家事に専念すべきだと思う	女性は仕事に就かないほうがよいと思う	その他	わからない	無回答
全体	374	26.5	34.8	1.9	4.0	0.8	4.8	5.9	21.4
性別									
男性	172	24.4	34.9	4.1	5.8	1.2	7.0	4.1	18.6
女性	202	28.2	34.7	0.0	2.5	0.5	3.0	7.4	23.8
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別									
20歳代	21	38.1	38.1	0.0	4.8	0.0	4.8	4.8	9.5
30歳代	57	31.6	40.4	0.0	1.8	0.0	10.5	3.5	12.3
40歳代	56	32.1	32.1	1.8	1.8	1.8	8.9	8.9	12.5
50歳代	70	31.4	40.0	0.0	2.9	0.0	4.3	7.1	14.3
60歳代	93	22.6	33.3	4.3	8.6	1.1	3.2	3.2	23.7
70歳以上	76	15.8	27.6	2.6	2.6	1.3	0.0	7.9	42.1
無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問10 あなたは、これから女性が働きやすい環境をつくるためには、どのような事が必要だと思いますか

(%)

	回答総数	男性の家事・育児・介護への参加を進める	長時間労働を見直すなど男性の働き方をかえる	女性が働ける職場の増加や職業紹介を充実する	昇進、昇格や管理職登用の格差をなくす	パートタイムなどの女性の労働条件を向上する	再就職を希望する女性のための講座、セミナーを充実する	出産後も職場復帰できる再雇用制度を充実する	保育所や学童保育（児童クラブ）などの育児環境を充実する	育児・介護休業制度などの普及を図る	職場の意識改革などについての企業に対する働きかけを行う	事業所内保育施設の整備を促進する	その他	特にない	無回答
全体	374	24.6	20.6	20.3	10.2	35.6	5.3	40.1	30.5	18.4	12.8	15.8	1.3	3.2	11.2
性別															
男性	172	20.9	23.8	14.0	10.5	30.8	2.3	49.4	29.1	20.9	12.8	12.8	1.7	5.2	9.9
女性	202	27.7	17.8	25.7	9.9	39.6	7.9	32.2	31.7	16.3	12.9	18.3	1.0	1.5	12.4
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別															
20歳代	21	19.0	38.1	19.0	4.8	33.3	9.5	28.6	33.3	19.0	9.5	23.8	0.0	4.8	9.5
30歳代	57	33.3	31.6	22.8	7.0	42.1	7.0	36.8	40.4	19.3	19.3	19.3	0.0	0.0	3.5
40歳代	56	16.1	25.0	25.0	10.7	42.9	5.4	41.1	35.7	17.9	8.9	14.3	1.8	3.6	5.4
50歳代	70	24.3	21.4	20.0	7.1	37.1	7.1	37.1	31.4	27.1	15.7	18.6	2.9	2.9	5.7
60歳代	93	33.3	16.1	17.2	12.9	35.5	0.0	45.2	29.0	18.3	11.8	15.1	1.1	4.3	10.8
70歳以上	76	15.8	9.2	19.7	13.2	25.0	6.6	40.8	19.7	10.5	10.5	10.5	1.3	3.9	27.6
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問11 あなたはこれまで配偶者（事実婚や離別・死別を含む）や恋人などのパートナーから、次のようなドメスティック・バイオレンス（DV）を受けたことはありますか

(%)

	回答総数	身体的な暴力を受けた	ことばの暴力を受けた	嫌がっているのに性的行為を強要された	避妊に協力しなかった	見たくないのにポルノ雑誌やビデオを見せられた	何を言っても無視をされた	電話・電子メール・郵便物をチェックされた	大声で怒鳴られた	物を投げられた	経済的に抑圧された	生活費を渡さないなど、	その他	受けたことはない	無回答
全体	374	6.4	14.2	5.3	2.9	0.5	4.0	2.7	9.1	4.5	3.7	2.1	65.2	12.0	
性別															
男性	172	0.6	4.7	1.2	0.6	0.6	2.9	3.5	0.6	0.6	0.6	1.7	70.3	18.6	
女性	202	11.4	22.3	8.9	5.0	0.5	5.0	2.0	16.3	7.9	6.4	2.5	60.9	6.4	
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
年代別															
20歳代	21	4.8	0.0	4.8	4.8	0.0	0.0	14.3	4.8	4.8	4.8	4.8	81.0	0.0	
30歳代	57	7.0	10.5	5.3	5.3	0.0	1.8	5.3	7.0	5.3	1.8	1.8	75.4	1.8	
40歳代	56	8.9	19.6	7.1	7.1	0.0	7.1	0.0	14.3	3.6	5.4	5.4	64.3	7.1	
50歳代	70	8.6	14.3	7.1	1.4	0.0	8.6	1.4	8.6	2.9	5.7	1.4	70.0	8.6	
60歳代	93	6.5	18.3	2.2	1.1	1.1	3.2	1.1	11.8	6.5	3.2	2.2	54.8	18.3	
70歳以上	76	2.6	10.5	6.6	1.3	1.3	1.3	2.6	5.3	3.9	2.6	0.0	63.2	22.4	
無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問12 性犯罪、買売春、ドメスティック・バイオレンス(DV)、セクシュアル・ハラスメントなど、女性に対する暴力が大きな問題になっていますが、これらをなくすためには、どのようにしたらよいと思いますか

(%)

	回答総数	法律や制度の見直しを行う	犯罪の取り締まりを強化する	相談や捜査、裁判などの担当者に女性を増やすなど、被害を受けた女性が届出しやすいような環境をつくる	被害女性のための相談体制や保護施設を整備する	人権や男女平等についての学校教育を進める	人権や男女平等について家庭で教育をする	行政がもっと啓発活動をする	過激な暴力表現のビデオやゲーム等の流出を制限する	その他	わからない	無回答
全体	374	37.7	42.2	61.5	48.9	27.8	16.3	15.0	38.0	2.9	4.5	3.5
性別												
男性	172	43.0	48.8	55.2	45.3	25.0	11.6	16.3	31.4	4.1	5.8	3.5
女性	202	33.2	36.6	66.8	52.0	30.2	20.3	13.9	43.6	2.0	3.5	3.5
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別												
20歳代	21	47.6	61.9	66.7	33.3	4.8	9.5	4.8	14.3	14.3	4.8	4.8
30歳代	57	33.3	43.9	66.7	50.9	19.3	21.1	10.5	24.6	0.0	7.0	1.8
40歳代	56	46.4	44.6	64.3	50.0	28.6	17.9	14.3	28.6	12.5	1.8	0.0
50歳代	70	31.4	37.1	71.4	60.0	22.9	18.6	15.7	41.4	1.4	5.7	1.4
60歳代	93	43.0	40.9	61.3	49.5	35.5	14.0	14.0	45.2	0.0	4.3	3.2
70歳以上	76	31.6	40.8	44.7	40.8	34.2	14.5	22.4	48.7	0.0	3.9	9.2
無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問13 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか

(%)

	回答総数	男女平等 (共同)参画社会	女子差別撤廃条約	配偶者暴力防止法	ジェンダー	男女雇用機会均等法	ワーク・ライフ・バランス	その他	見たり聞いたりしたものはない	無回答
全体	374	48.1	17.1	28.1	17.9	69.5	16.6	1.1	11.0	3.2
性別										
男性	172	50.6	16.3	26.7	15.7	76.2	12.2	1.2	7.0	3.5
女性	202	46.0	17.8	29.2	19.8	63.9	20.3	1.0	14.4	3.0
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別										
20歳代	21	42.9	42.9	19.0	38.1	76.2	19.0	0.0	4.8	4.8
30歳代	57	28.1	19.3	17.5	21.1	71.9	19.3	0.0	15.8	1.8
40歳代	56	51.8	17.9	23.2	26.8	83.9	19.6	3.6	3.6	0.0
50歳代	70	47.1	20.0	38.6	21.4	71.4	8.6	2.9	12.9	2.9
60歳代	93	55.9	11.8	33.3	11.8	73.1	16.1	0.0	7.5	2.2
70歳以上	76	53.9	11.8	26.3	7.9	50.0	19.7	0.0	15.8	7.9
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

問14 あなたは、市で取組んでいる次の男女平等参画に関する施策を知っていますか

(%)

	回答総数	苫小牧市男女平等参画推進条例	苫小牧市男女平等参画基本計画 (第2次)	苫小牧市男女平等参画審議会	女性のための無料法律相談	「苫小牧市男女平等参画情報誌 「ふりむ」の発行	男女平等参画講座 (「男のキツチン・女性のための健康講座等」)	男女平等参画社会の推進のため 懸垂幕を市庁舎北側に掲示	いずれも知らない	無回答
全体	374	11.0	4.0	3.2	26.5	3.5	11.0	6.1	58.8	5.1
性別										
男性	172	13.4	5.2	4.1	19.2	4.7	8.7	8.7	62.2	5.8
女性	202	8.9	3.0	2.5	32.7	2.5	12.9	4.0	55.9	4.5
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別										
20歳代	21	4.8	4.8	0.0	9.5	4.8	4.8	0.0	81.0	0.0
30歳代	57	1.8	1.8	1.8	21.1	0.0	7.0	1.8	71.9	3.5
40歳代	56	8.9	3.6	3.6	26.8	1.8	12.5	10.7	53.6	5.4
50歳代	70	8.6	2.9	5.7	27.1	1.4	11.4	4.3	64.3	1.4
60歳代	93	15.1	5.4	2.2	31.2	6.5	11.8	6.5	58.1	4.3
70歳以上	76	18.4	5.3	3.9	28.9	5.3	11.8	7.9	43.4	11.8
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0

問15 男女平等参画社会実現のために、今後、市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか

(%)

	回答総数	「男女平等参画都市宣言」を行う	講演会等啓発活動の推進	男女平等参画の広報・啓発	男女平等参画に関する諸問題の弁護士等による相談体制の充実	男女平等参画の視点に立った教育の推進（学校教育・家庭教育・生涯学習）	性の尊重についての意識の啓発	性に関する教育や母性保護などのための広報等の周知	女性に対するあらゆる暴力防止のための広報等の周知	ドメスティック・バイオレンス被害者への支援体制の充実	審議会委員など、市の政策・方針決定の場に、女性委員の参画の促進	家事・育児・介護等家庭生活における男女平等参画の促進と他の活動との両立支援	職場における女性の管理職の積極的な登用	子育て環境を整備する	保育の施設・サービスマスや地域の（地域活動・地域防災・国際交流）	地域社会への男女平等参画の促進	健康保持・促進（妊娠・出産、医療体制）	生涯にわたる健康づくりの推進（男女の健康保持・促進）	環境整備と社会参画の促進	高齢者や障がい者が安心して暮らせる	その他	特になし	わからない	無回答
全体	374	11.2	12.8	8.8	19.3	6.7	8.6	15.5	7.0	25.7	9.6	35.0	4.3	18.4	40.4	1.9	4.3	10.4	3.2					
性別																								
男性	172	15.1	14.5	8.7	17.4	5.2	7.0	22.7	6.4	23.8	9.9	32.0	3.5	18.6	34.9	2.9	5.2	12.2	2.9					
女性	202	7.9	11.4	8.9	20.8	7.9	9.9	9.4	7.4	27.2	9.4	37.6	5.0	18.3	45.0	1.0	3.5	8.9	3.5					
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
年代別																								
20歳代	21	9.5	4.8	9.5	9.5	14.3	14.3	9.5	0.0	47.6	14.3	47.6	0.0	19.0	19.0	4.8	4.8	14.3	0.0					
30歳代	57	5.3	10.5	1.8	19.3	3.5	5.3	17.5	7.0	35.1	8.8	43.9	3.5	19.3	26.3	1.8	8.8	5.3	5.3					
40歳代	56	8.9	14.3	10.7	14.3	3.6	12.5	14.3	10.7	35.7	8.9	48.2	7.1	19.6	23.2	3.6	5.4	5.4	3.6					
50歳代	70	10.0	15.7	8.6	21.4	4.3	4.3	14.3	4.3	18.6	10.0	45.7	2.9	14.3	45.7	0.0	0.0	15.7	0.0					
60歳代	93	12.9	11.8	9.7	26.9	9.7	8.6	15.1	5.4	21.5	11.8	24.7	6.5	21.5	49.5	3.2	3.2	8.6	2.2					
70歳以上	76	17.1	14.5	11.8	13.2	7.9	10.5	18.4	10.5	17.1	6.6	18.4	2.6	15.8	53.9	0.0	5.3	14.5	6.6					
無回答	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

問16 あなたは、男女平等参画宣言の方法としての「男女平等参画都市宣言」について、知っていますか

(%)

	回答総数	知っている	知らない	無回答
全体	374	12.6	84.5	2.9
性別				
男性	172	13.4	84.3	2.3
女性	202	11.9	84.7	3.5
無回答	0	-	-	-
年代別				
20歳代	21	0.0	100.0	0.0
30歳代	57	1.8	96.5	1.8
40歳代	56	7.1	92.9	0.0
50歳代	70	8.6	90.0	1.4
60歳代	93	16.1	77.4	6.5
70歳以上	76	26.3	69.7	3.9
無回答	1	100.0	0.0	0.0

問17 市は「男女平等参画都市宣言」の取組みを行う考えですが、記念式典の内容はどのようなものが良いと思いますか

(%)

	回答総数	記念講演	宣言文宣誓	市民からの応募作品の表彰（川柳等）	市民からの応募作品や資料の展示	男女平等参画社会に関する寸劇	その他	無回答
全体	374	45.2	29.1	16.0	24.3	13.1	8.3	17.9
性別								
男性	172	43.6	36.0	15.7	27.3	11.0	9.9	18.0
女性	202	46.5	23.3	16.3	21.8	14.9	6.9	17.8
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-
年代別								
20歳代	21	38.1	28.6	19.0	33.3	23.8	9.5	0.0
30歳代	57	24.6	26.3	15.8	33.3	15.8	14.0	14.0
40歳代	56	44.6	30.4	16.1	21.4	10.7	12.5	16.1
50歳代	70	44.3	32.9	12.9	18.6	15.7	5.7	24.3
60歳代	93	54.8	33.3	14.0	24.7	11.8	6.5	14.0
70歳以上	76	51.3	22.4	21.1	22.4	9.2	5.3	26.3
無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

V 調査票

男女平等参画に関する市民意識調査



あなたご自身のことについておたずねします

該当する番号に○をつけてください。

あなたの性別についてお聞きします。

1 男	2 女
-----	-----

あなたの年齢についてお聞きします。

1 20 歳代	2 30 歳代	3 40 歳代
4 50 歳代	5 60 歳代	6 70 歳以上

男女平等についてお聞きします

問1 あなたは、現在、次にあげるような分野や社会全体をみて、男女の地位などに差があると思いますか。(1)~(8)のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

(各項目に○は1つ)

	男性が優遇 されている	どちらかとい えば男性が 優遇されて いる	差はない (平等である)	どちらかとい えば女性が 優遇されて いる	女性が優遇 されている	わからない
(1) 家庭生活	1	2	3	4	5	6
(2) 仕事の間	1	2	3	4	5	6
(3) 学校教育の間	1	2	3	4	5	6
(4) 地域活動の間	1	2	3	4	5	6
(5) 政治や行政の間	1	2	3	4	5	6
(6) 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
(7) 社会通念・慣習など	1	2	3	4	5	6
(8) 社会全体	1	2	3	4	5	6

役割分担意識についてお聞きします

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方をどう思われますか。(○は1つ)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そうは思わない
- 5 わからない

問3 家庭での男女の役割分担について、あなたの家庭ではどうなっていますか。(○は1つ)

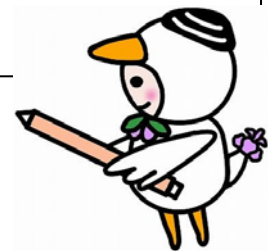
- 1 男は仕事、女は家事・育児を分担している
- 2 女は仕事、男は家事・育児を分担している
- 3 男女とも仕事をし、家事・育児は主に女が分担している
- 4 男女とも仕事をし、家事・育児は主に男が分担している
- 5 男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担している
- 6 男女とも仕事をし、家事・育児は第三者(親族やヘルパーなどのサービス)の協力がある
- 7 役割分担はしていない
- 8 単身者なのでわからない
- 9 その他(具体的に: _____)

問4 家庭での男女の役割分担について、あなたは本来どうあるべきだと思いますか。(○は1つ)

- 1 男は仕事、女は家事・育児を分担する
- 2 女は仕事、男は家事・育児を分担する
- 3 男女とも仕事をし、家事・育児は主に女が分担する
- 4 男女とも仕事をし、家事・育児は主に男が分担する
- 5 男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担する
- 6 男女とも仕事をし、家事・育児は第三者(親族やヘルパーなどのサービス)に任せる
- 7 役割分担する必要はない
- 8 その他(具体的に: _____)
- 9 わからない

問5 今後、男性が女性とともに、家事・子育て・介護・地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる
- 2 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする
- 3 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心が高めるよう啓発や情報提供を行う
- 4 国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高める
- 5 男性が子育てや介護、地域活動を行うためのネットワークを作る
- 6 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設ける
- 7 事業所の協力のもと、男性、女性の仕事と家庭の両立を支援する体制を整備する
- 8 その他(具体的に: _____)
- 9 特に必要なことはない



出産・子育てについてお聞きします

問6 現在、一人の女性が一生のうちに産む子どもの数は、年々減りつづけています。このように出生率が低下したのはなぜだと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 子育てに経費がかかる
- 2 子育てと仕事を両立できる社会的な仕組み(雇用条件・保育環境等)が整っていない
- 3 女性の高学歴化や社会進出により結婚年齢が上昇した
- 4 子どもは少なく産み、十分手をかけて育てたいという人が増えた
- 5 子どもより、仕事や余暇を充実したいと考える人が増えた
- 6 職場に育児休業の理解がないため、働きながら子どもを育てられない
- 7 結婚しない人が増えた
- 8 出産・子育てに対する男性(夫)の理解・協力が足りず、女性(妻)の精神的・肉体的負担が大きい
- 9 祖父母や隣近所など両親以外に子育てを支援してくれる人がいない
- 10 子どもをほしくない人が増えた
- 11 その他(具体的に: _____)
- 12 わからない

問7 あなたは、子どもを産みやすい、育てやすい環境づくりのためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 育児休業中も給与が支払われることを保障する制度の創設
- 2 家事や育児に男女ともに参加するような世の中の全体の意識改革
- 3 親の働く時間に対応できる保育時間の延長や、産休明けに利用できる0歳児保育の充実
- 4 ボランティア活動や生涯学習、冠婚葬祭などの時に子どもを一時的に保育してくれる施設・制度の整備・充実
- 5 子どもが急な病気の時に、仕事を休まなくても良い保育施設の充実
- 6 子どもの出産・育児に対する手当などの充実
- 7 育児について相談できる機関や人的ネットワークの整備・充実
- 8 その他(具体的に: _____)
- 9 わからない

就労についてお聞きします

問8 働いている方にお聞きします。

あなたの今の職場では、女性は男性に比べ差別されていると思いますか。(〇は1つ)

- 1 差別されていると思う →問8-1へ
- 2 そのようなことはないと思う →問9へ
- 3 わからない →問9へ

問8-1 問8で「差別されていると思う」と答えた方にお聞きします。それは具体的にどのようなことですか。(〇はいくつでも)

- 1 賃金に格差がある
- 2 昇進、昇格や管理職登用に差がある
- 3 能力を正當に評価しない
- 4 補助的な仕事しかやらせてもらえない
- 5 結婚や出産した時にそのまま仕事を続けにくい雰囲気がある
- 6 女性は定年まで仕事を続けにくい雰囲気がある
- 7 教育・訓練を受ける機会が少ない
- 8 その他(具体的に: _____)

問9 あなたは、女性の仕事と家庭の関わりについて、どのように考えますか。(〇は1つ)

- 1 結婚や出産にこだわらず、仕事を続けるべきだと思う
- 2 結婚や出産後は仕事をやめ、育児が一段落した後、再び仕事に就くべきだと思う
- 3 結婚を機会に仕事をやめ、家事に専念すべきだと思う
- 4 出産を機会に仕事をやめ、家事に専念すべきだと思う
- 5 女性は仕事に就かないほうがよいと思う
- 6 その他(具体的に: _____)
- 7 わからない

問10 あなたは、これから女性が働きやすい環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 男性の家事・育児・介護への参加を進める
- 2 長時間労働を見直すなど男性の働き方を変える
- 3 女性が働ける職場の増加や職業紹介を充実する
- 4 昇進、昇格や管理職登用の格差をなくす
- 5 パートタイムなどの女性の労働条件を向上する
- 6 再就職を希望する女性のための講座、セミナーを充実する
- 7 出産後も職場復帰できる再雇用制度を充実する
- 8 保育所や学童保育(児童クラブ)などの育児環境を充実する
- 9 育児・介護休業制度などの普及を図る
- 10 職場の意識改革などについて、企業に対する働きかけを行う
- 11 事業所内保育施設の整備を促進する
- 12 その他(具体的に: _____)
- 13 特にない

人権についてお聞きします

問11 あなたはこれまで配偶者(事実婚や離別・死別を含む)や恋人などのパートナーから、次のようなドメスティック・バイオレンス(DV)を受けたことはありますか。(○はいくつでも)

- 1 身体的な暴力を受けた
- 2 ことばの暴力を受けた
- 3 嫌がっているのに性的行為を強要された
- 4 避妊に協力しなかった
- 5 見たくないのにポルノ雑誌やビデオを見せられた
- 6 何を言っても無視をされつづけた
- 7 電話・電子メール・郵便物をチェックされた
- 8 大声で怒鳴られた
- 9 物を投げられた
- 10 生活費を渡さないなど、経済的に抑圧された
- 11 その他(具体的に: _____)
- 12 受けたことはない



※ドメスティック・バイオレンス(DV)とは、配偶者(事実婚や離別・死別を含む)や恋人などのパートナーから、身体的・精神的・性的などの暴力をふるわれること

問12 性犯罪、買売春、ドメスティック・バイオレンス(DV)、セクシュアル・ハラスメントなど、女性に対する暴力が大きな問題になっていますが、これらをなくすためには、どのようにしたらよいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 法律や制度の見直しを行う
- 2 犯罪の取り締まりを強化する
- 3 相談や捜査、裁判などの担当者に女性を増やすなど、被害を受けた女性が届出しやすいような環境をつくる
- 4 被害女性のための相談体制や保護施設を整備する
- 5 人権や男女平等についての学校教育を進める
- 6 人権や男女平等について家庭で教育をする
- 7 行政がもっと啓発活動をする
- 8 過激な暴力表現のビデオやゲーム等の流出を制限する
- 9 その他(具体的に:)
- 10 わからない

※セクシュアル・ハラスメントとは、職場などで、相手の意思に反して不快や不安な状態に追い込む性的・差別的な言動のこと

男女平等参画社会の推進に向けてお聞きします

問13 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。(〇はいくつでも)

- 1 男女平等(共同)参画社会
(男女が、その人権を尊重され、自らの意思によって仕事、家庭、地域生活など、多様な活動のあらゆる分野において、共に責任を分かち合い、その個性と能力を十分に発揮することができる社会)
- 2 女子差別撤廃条約(女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約)
- 3 配偶者暴力防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律)
- 4 ジェンダー(社会的に作られた性別・性差)
- 5 男女雇用機会均等法
(雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律)
- 6 ワーク・ライフ・バランス
(人それぞれの希望に応じて、仕事と子育てや親の介護、地域活動等の仕事以外の生活の調和がはかれる状態)
- 7 その他(具体的に:)
- 8 見たり聞いたりしたものはない

問14 あなたは、市で取組んでいる次の男女平等参画に関する施策を知っていますか。

(○はいくつでも)

- 1 苫小牧市男女平等参画推進条例
- 2 苫小牧市男女平等参画基本計画(第2次)
- 3 苫小牧市男女平等参画審議会
- 4 女性のための無料法律相談
- 5 苫小牧市男女平等参画情報誌「ふりーむ」の発行
- 6 男女平等参画講座(男のキッチン・女性のための健康講座等)
- 7 男女平等参画社会の推進のため懸垂幕を市庁舎北側に掲示
(標語:男女平等参画社会を推進するまち苫小牧市)
- 8 いずれも知らない



問15 男女平等参画社会実現のために、今後、市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(○は3つまで)

- 1 「男女平等参画都市宣言」を行う
- 2 男女平等参画の広報・講演会等啓発活動の推進
- 3 男女平等参画に関わる諸問題の弁護士等による相談体制の充実
- 4 男女平等参画の視点に立った教育の推進(学校教育・家庭教育・生涯学習)
- 5 性に関する教育や母性保護などの性の尊重についての意識の啓発
- 6 女性に対するあらゆる暴力防止のための広報等の周知
- 7 ドメスティック・バイオレンス被害者への支援体制の充実
- 8 審議会委員など、市の政策・方針決定の場に、女性委員の参画の促進
- 9 家事・育児・介護等家庭生活における男女平等参画の促進と他の活動との両立支援
- 10 職場における女性の管理職の積極的な登用
- 11 保育の施設・サービスや地域の子育て環境を整備する
- 12 地域社会への男女平等参画の促進(地域活動・地域防災・国際交流)
- 13 生涯にわたる健康づくりの推進(男女の健康保持・促進、妊娠・出産、医療体制)
- 14 高齢者や障がい者が安心して暮らせる環境整備と社会参画の促進
- 15 その他(具体的に:)
- 16 特にない
- 17 わからない

※男女平等参画都市宣言とは？

男女が互いの人権を尊重し、対等な関係で力を出し責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できる、男女平等参画社会の実現を目指して、市、事業者及び市民が一体となって施策に取り組む姿勢を市内外に明らかにすること。

問16 あなたは、男女平等参画宣言の方法としての「男女平等参画都市宣言」について、知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 知っている
- 2 知らない

問17 市は「男女平等参画都市宣言」の取組みを行う考えですが、記念式典の内容はどのようなものが良いと思いますか。(○は3つまで)

- 1 記念講演
- 2 宣言文宣誓
- 3 市民団体や学生による演奏・合唱
- 4 市民からの応募作品の表彰(川柳等)や資料の展示
- 5 男女平等参画社会に関する寸劇
- 6 その他(具体的に: _____)

男女平等参画を進めるにあたり、ご意見やご要望がありましたらお聞かせください。



アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

男女平等参画に関する市民意識調査報告書

苫小牧市市民生活部男女平等参画課

〒053-0021 苫小牧市若草町3丁目3番8号（市民活動センター内）

TEL (0144) 32-3544 FAX (0144) 37-2223

Eメール danjobyodo@city.tomakomai.hokkaido.jp